

令和4年度事業報告

公益財団法人びわ湖芸術文化財団

I 事業概要

県域全体の文化振興施策を総合的に推進するため、財団の強みを生かし、効率的・効果的な事業展開に努めるとともに、滋賀県から受託している滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールおよび滋賀県立文化産業交流会館の当期指定管理者の2年目として、これまで培ってきたノウハウを生かし、当該施設の適切な管理運営を行った。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外アーティストの招聘については引き続き厳しい状況が継続していたが、国内アーティストの活用による事業展開を図った。文化庁等のコロナ対策関連助成金を活用して事業を実施し、財源の確保に努めるとともに、感染症の拡大防止対策に万全を期しつつ、安心して劇場を訪れていただけるよう管理運営に努めた。

法人本部について、総務部では法人全体の総務・経理事務を行い、営業部では、びわ湖ホール、文化産業交流会館および地域創造部を一体的にとらえ、財団全体の情報発信や企業等からの支援獲得に取り組んだ。地域創造部では、県内の文化ホール、文化活動者・文化団体、学校、企業や地域等とのネットワークを図り、協働連携のもと、県民の皆様が身近に文化芸術に触れられる機会を提供するとともに、次代を担うアーティストや地域とアーティストをつなぐコーディネーターの発掘と育成に努めた。また、県内文化ホール等との協働制作による公演開催や、文化団体等と協働による支援事業を地域創造部が担い、びわ湖ホールを含めた財団の事業を県内全域に、総合的に推進する体制の強化に努めた。

びわ湖ホールでは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、滋賀県や全国公立文化施設協会等のガイドラインに基づき感染対策を徹底するとともに、舞台音響・照明設備の改修に伴う休館の影響が最小限に止まるよう開催時期を工夫し、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等の舞台芸術公演を実施したほか、リハーサル見学会や学校との連携事業などの舞台芸術の普及事業を行った。専属声楽アンサンブルは、ホール内外で活発な活動が続け、学校巡回公演、ふれあい音楽教室や令和3年度に新制作した子ども向けオペラ『泣いた赤おに』を県内外の小学生等を対象に上演するとともに、NHKニューイヤーパーオペラコンサートをはじめ、各所からの依頼に応じて演奏活動を行った。広報営業活動や友の会運営、地域や大学との連携、協働等を通じ、観客の拡大や人材育成に努めるとともに、ホール、練習室等の施設利用提供および施設の管理等を行った。

文化産業交流会館においても新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、滋賀県や全国公立文化施設協会等の方針に沿って対策を講じながら、県北部の文化振興の拠点として施設や地域の特性を活かし自主事業を展開した。特設舞台・芝居小屋「長栄座」では、令和3年度から「夏のフェスティバル」として、「長栄座伝承会『むすひ』」と題した古典芸能の自主制作公演をはじめ、びわ湖ホール声楽アンサンブルの演奏会、併せて滋賀の伝統的工芸品の展示等を行った。また、邦楽・邦舞を次世代へ継承するワークショップとその成果発表、子どもや青少年による県民参加ミュージカル、滋賀にゆかりのある若手演奏家による室内楽コンサートなど幅広い分野の舞台公演等を開催した。さらに、学校で児童・生徒が身近に和楽器の生演奏に触れる機会を提供するアウトリーチ事業に取り組んだ。令和4年度もコロナ感染症拡大の影響によりチケット販売は芳しくなかったが、賑わいを創出すべく誰もがご来場いただける多様なプログラムを実施した。また、施設管理については、経年劣化した小劇場の舞台照明設備を全面改修するなど、開館から34年を経過した施設設備の修繕を行い、安全・安心で快適にご利用いただける環境整備に努めた。

財団の事業の実施にあたっては、中期経営計画に基づき、計画的、戦略的な事業展開、健全な法人

経営に努めるとともに、コロナ対策関連の文化庁助成金等の申請や、自主事業基金への寄付を幅広く呼びかけるなど、コロナ禍にあっても自主事業の積極的な実施および適切な施設管理運営に向けて取り組んだ。

Ⅱ 事業実績

1 法人本部

(1) 自主事業

ア 地域連携事業

文化・経済フォーラム滋賀と共催で、アートと地域の人々との出会いや交流の場を提供するアートプロジェクト「びわ湖・アーティスト・みんぐる2022」を実施した。近江鉄道が走る沿線を舞台に繰り広げた「ガチャ・コン音楽祭vol. 2」では、鋳物づくりの伝統など先人の影響が色濃く残る地域を音楽とともにめぐるツアーライブを開催。新鋭のアーティストが「鐘」をテーマに新作を発表し、東近江の隠れた梵鐘スポットに、時代やジャンルを超えた新しい音楽を鳴り響かせた。また、音楽家・野村誠氏らを中心にアートプロジェクトができるまでを、3回のワークショップやミーティングに参加しながら学び・体験する「プロジェクトメンバー“ぐるぐる”」を併行して実施し、アートと地域や文化芸術活動をつなぐための人材の育成・発掘に取り組んだ。さらには、びわ湖大津館（旧琵琶湖ホテル）および琵琶湖汽船ミシガンを会場に、歴代の滋賀県次世代文化賞受賞者を一堂に紹介する作品展示や、ミシガン船内に出版する作品をつくるワークショップを実施。多彩な知と感性が交わる（“みんぐる”する）プロジェクトを目指した。

県内の文化ホールをはじめ、文化活動者・文化団体と協働連携する「滋賀県アートコラボレーション事業」では、自主企画として、琵琶湖周航の歌100周年を記念した加藤登紀子プロデュースによる県民参加型コンサート「第4回 びわ湖音楽祭in長浜」（長浜文化芸術会館）、人気ピアニストによる演奏とトークで音楽をより身近に感じていただいた「清塚信也ピアノリサイタル」（甲賀市あいこうか市民ホール）、日野で2年に1度開催しオーケストラの魅力を紹介した「オーケストラ・ムジカ・チェレステ演奏会」（日野町町民会館わたむきホール虹）を開催。さらには、ドラム缶から生まれた楽器スティールパンの魅力をオリジナル企画で紹介した「STEELPAN ORCHESTRA ぷらす ANISON プラス DANCEライブ」（みずほ文化センター）、太鼓や伝統文化への関心を高めることを目的に「祭・息づく太鼓」（伊吹葉草の里文化センター）を開催した。

また、県内文化ホール等との協働制作として、「滋賀県文化賞・文化奨励賞・次世代文化賞受賞者によるコンサート」2公演を制作。「中川彩フルートの世界」「クレア音楽の時間Vol.3 教えて！「詩人 野呂昶の世界」」を開催した。同じく、協働制作として、「おうみ狂言図鑑2023」では、滋賀を題材にした新作狂言「琵琶姫」と古典作品を組み合わせ、県内4会場で上演し、滋賀の魅力発信と古典芸能への関心の喚起を図った。

その他、文化団体等と協働して「アート活動支援事業」を実施し、地域のアート活動を支え、アートによる地域活性化を図った。

イ 情報提供事業

昭和52年（1977年）9月の創刊から45年を迎えた総合文化誌『湖国と文化』を編集・発行し、歴史、風土、自然、文化芸術など、滋賀の多彩な魅力を県内外に発信した。

特集に「再考・近江商人～「三方よし」を超えて」、「湖国の原風景～記憶を未来へ」、「近江と芸能～忘れられた人々」、「近江を詠う 近江は詠う」を取り上げた。滋賀県教育委員会、県内の文化施設等と連携し、積極的に出張販売も行うなど、滋賀の魅力をより幅広く県内外に発信した。（年4回発行、各3,000部）

(2) 受託事業

ア 障害者の文化芸術活動を支える拠点づくり事業

本事業の専任者として「文化芸術による共生社会づくりコーディネーター」を設置。コーディネーターの企画・調整のもと、文化施設等での「守山市民ホール×湖南ダンスカンパニー『くらすダンスホール ～うみのはた大作戦！～』」、「長浜から文化芸術と共生社会を考えるワークショップシリーズ 文化芸術と地域社会をめぐるまなざしとモノサシの見つけ方」の2事業、

共生社会づくりに資する文化芸術相談への対応として「文化芸術と共生社会を考えるトークカフェ」「焚き火ミーティング」「アートと社会の相談室」、文化芸術団体等の活動実態の調査として「リサーチラボ」をそれぞれ実施するほか、事業成果報告会を開催した。

イ 滋賀県芸術文化祭

県内 24 の文化団体等で構成する実行委員会の事務局を担い、県民の皆様に文化芸術の創作活動の成果や鑑賞の機会を提供した。

コロナ禍で事業の延期が増加しているため、8月下旬から例年より終期を延長し令和5年1月末までを開催期間とし、同期間中に、県内各地で開催される文化芸術活動のうち趣旨に賛同いただいた「芸術文化祭参加事業」を総合パンフレット等により県民の皆様に周知した。

さらには、主催事業として「芸術文化祭オープニングイベント」、「第61回滋賀県写真展覧会」「第72回滋賀県文学祭」「第76回滋賀県美術展覧会」を開催した。

ウ 県内文化情報提供事業

(ア) 湖国文化情報『れいかる』編集・発行

県内の文化ホール、美術館、博物館等の文化情報を提供することにより、県民の皆様に文化活動に対する関心を高めていただいた。(年5回発行、各30,000部)

(イ) 総合文化誌『湖国と文化』提供

県内外の図書館、教育機関および全国の滋賀県人会等へ配本し、滋賀の歴史や文化等の魅力を発信した。

(3) 独 自 事 業

ア 文化・経済フォーラム滋賀の事務局運営

産官学民の各分野で活躍する人たちで組織する文化・経済フォーラム滋賀の事務局を担い、文化活動を通して活力あふれる地域社会づくりに貢献された団体等を表彰する「文化で滋賀を元気に！賞」をはじめ各種事業を展開した。特に、文化ビジネス塾（滋賀県立文化産業交流会館と共催）では、「地域の文化は誰が受け継ぐか～博物館と地域社会の関わりを見直す～」をテーマに議論を深めて提言にまとめ、総会で発表した。

(4) 広報営業活動

財団全体の取り組みとして、びわ湖ホール、文化産業交流会館および地域創造部を一体的にとらえ、それぞれが発行する広報媒体、発信の機会、顧客情報等を有効活用するとともに、共同の企画を実施したり、県内企業等への支援依頼を行うなど、財団全体の営業活動を行った。

事業の実施にあたっては、報道関係機関への資料提供に加え、出演者や受賞者による記者会見、ならびに直接報道関係機関を訪問し趣旨説明を行うなどして、各種事業の発信に努めた。

また、びわ湖ホールの舞台芸術情報誌「湖響」に、文化産業交流会館および地域創造部の事業を紹介するページ「えいじゃに」を設ける一方、地域創造部で編集・発行する総合文化誌「湖国と文化」で、びわ湖ホールの取り組みを継続的に紹介する連載ページを設け、財団が一体となって各種事業を県内外に周知した。

チケット販売システムを活用し、主催事業のほか、「アートコラボレーション事業」等の県内文化ホールと協働で展開する事業についても財団ホームページ上でチケット販売を行うとともに、びわ湖ホールチケットセンターや文化産業交流会館の事務所窓口でも原券チケットが購入できるようにして、利便性を高めた。

【令和4年度自主事業等】

法人本部 地域創造部

区分		事業数	公演数	入場者数
自主事業	地域連携	10	36	10,351
		(8)	(24)	(3,130)
	情報提供	2	—	—
		(2)	—	—
	合計	12	36	10,351
		(10)	(24)	(3,130)
受託事業		3	20	279,424
		(5)	(22)	(201,786)
独自事業		1	—	—
		(2)	—	—
合 計		16	56	289,775
		(17)	(46)	(204,916)

※()は前年度実績

※公演数には展覧会、講演会、アウトリーチ、ワークショップ等を含む。

(ア)自主事業

アートと地域の人々との出会いや交流の場を提供していくことを目的とした「びわ湖・アーティスト・みんぐる」をはじめ、県内各地で12事業36公演を実施するほか、総合文化誌『湖国と文化』を編集・発行し、滋賀の歴史、風土、自然、文化芸術等の特色ある文化情報を発信した。

①地域連携事業

実施日		事業名	実施場所	事業概要	入場者数 (人)
6月19日(日)	びわ湖・アート・ディスプレイ・みんぐる2022	プロジェクトメンバー“ぐるぐる” キックオフ ミーティング	日野駅観光案内交流施設 なないろ	昨年開催した「ガチャ・コン音楽祭」を映像で振り返りながら、今年プログラムやアイデアを公開ミーティング。ディレクター・野村誠による「キックオフフロア」も生披露した。	14
7月17日(日)		プロジェクトメンバー“ぐるぐる” WORKSHOP 01 トーク・フィールドワーク 「場所の響きを観察する:フィールドレコーディングの世界」	蒲生コミュニティセンター	ベトナムの金属打楽器ゴングの研究や、「フィールドレコーディング」を通じた音の文化を研究する柳沢英輔氏に、場所や空間の響きを観察・記録することから広がる土地の聴き方・見方についてお話を聞き、実際にアートプロジェクトの舞台となる土地の音に耳を傾けた。	13
8月7日(日)		プロジェクトメンバー“ぐるぐる” WORKSHOP 02 博物館鑑賞・トーク 「Sky fishing -目に見えない何かを感じて- / アートカイトの魅力」	世界風博物館 東近江大風会館	実験音楽、インスタレーション、平面、立体など、様々なメディアで作品制作をおこなうニシジマ・アツシ氏が風にまつわる作品群について解説。また、「八日市風」とアートの関係から、地域とアーティストとの協働について紐解いた。	8
8月28日(日)		展示部門 「Arts on Lake BIWA」 アート・ワークショップ	ハッシュタグ大津京 (BRANCH大津京内)	8人の若手芸術家による作品展「Arts on Lake BIWA」とミシガン船内に出品する作品をつくるワークショップを実施した。	19
9月17日(土) ～9月25日 (日)		展示部門 「Arts on Lake BIWA」	びわ湖大津館 (旧琵琶湖ホテル)	期待の若手芸術家に贈られる滋賀県次世代文化賞受賞者の作品展。1934年に建設された旧琵琶湖ホテルの8つの客室が、8人の芸術家により新たな芸術空間へと生まれ変わった。	325
			琵琶湖汽船「ミシガン」 3階ロイヤルルーム ※9月18日～20日まで台風のため休航	びわ湖大津館での展覧会と同時開催で、藤永覚耶氏の作品および8月28日に「アート・ワークショップ」で制作された作品を展示した。	2,637
9月24日(土)		プロジェクトメンバー“ぐるぐる” WORKSHOP 03 トーク・うたづくり 「仕事うた～営みを歌う」	ギャラリー＆カフェ ecole (東近江市)	近江鉄道沿線地域で鋳物師らによって歌い継がれた《たたら節》。森容子氏のお話を出発点に、土地の「仕事歌」とその背景に思いを巡らせながら、実際に歌をつくるワークショップを実施した。	5
10月1日(土) ～31日(月)		音楽部門 ガチャ・コン音楽祭Vol.2 「車内放送歌合戦」	近江鉄道900形車内	近江鉄道900形車内で流れる車内放送をオリジナル音源にて放送。いつもとは違う駅名ソングをお楽しみいただくとともに、新たなスポットやアーティストとの出会いを見つける契機とした。	—
10月23日 (日)	音楽部門 ガチャ・コン音楽祭Vol.2 ツアーライブ 「あかねさす ゴング(鐘)とパカ(場歌)のひらく音」	金念寺 (東近江市八日市金屋) 金壽堂 (東近江市長町) 竹田神社 (東近江市鋳物師町)	東近江に古代大陸から渡ってきた鋳物文化に着想を得てアーティストが新作を制作。地の音や、儀礼音楽、アンビエント、和歌、合唱、雅楽など、これまでつながることのなかった音楽が交錯しあうツアーライブを実施した。	133	
6月12日(日) ～ 3月26日(日)	滋賀県アートコラボレーション事業		別紙のとおり	別紙のとおり (8事業26公演)	7,197
5月22日(日)	アート活動支援事業	第11回ルシオールアート キッズフェスティバル	守山市民ホール他、 守山市全域	県内の文化団体等と協働して、地域のアート活動を支え、アートによる市域活性化を目指した。	-
6月4日(土)		けいおんストリートLive Vol.10	大津駅前公園		-
11月3日(木・祝)		けいおんストリートLive Vol.11	大津湖岸なぎさ公園 お祭り広場		-
12月4日(日)		糸賀一雄記念賞第21回音楽祭	ひこね市文化プラザ		-
3月7日(火)		滋賀県次世代文化芸術センターの「連携授業・文化芸術体験プログラム」 リズムを楽しむ打楽器コンサート	守山市生涯学習・教育支援センター		-
合計 10事業 36公演					10,351

②情報提供
事業

実施日	事業名	実施場所	事業概要	入場者数 (人)
通年	総合文化誌 『湖国と文化』の編集・発行	史跡や人物、自然、伝統行事、文化芸術など多彩な話題を満載し、魅力ある 滋賀の文化を発信する季刊誌を編集・発行(昭和52年(1977年)創刊)。県内 主要書店を中心に、文化施設や観光施設でも販売した。 〔発 行〕年4回(7・10・1・4月の各月1日) 〔特 集〕 第180号(夏)「再考・近江商人～「三方よし」を超えて」 第181号(秋)「湖国の原風景～記憶を未来へ」 第182号(冬)「近江と芸能～忘れられた人々」 第183号(春)「近江を詠う 近江は詠う」 〔発行部数〕各号3,000部 〔販売冊数〕7,785冊		—
通年	自主事業総合PR	指定管理事業の広報など		-
合 計 2事業				—

(別表) 滋賀県アートコラボレーション事業

県内の文化ホール、アートNPO等の文化団体、文化活動者から提案を募集し採択した事業および文化ホールとの協働制作事業を
県域のネットワーク構築と、地域の文化振興を目指して8事業26公演を実施した。

実施日	事業名	実施場所	事業概要	入場者数 (人)
6月12日(日)	第4回 びわ湖音楽祭 in 長浜	長浜文化芸術会館	加藤登紀子プロデュースによる県民参加型コンサート。「琵琶湖周航の歌」が生まれた地域の魅力を、地域住民をはじめ、県内外の多くの人が再認識する機会となった。	420
	関連企画 まちなか企画ストリートびわ湖音楽祭	えきまちテラス長浜	軽音楽のライブや県内高等学校軽音楽部の演奏を披露した。	—
7月23日(土)	清塚信也ピアノリサイタル	甲賀市あいこうか市民ホール	人気ピアニスト清塚信也のソロリサイタル。ユーモアたっぷりのトークとダイナミックな演奏を披露した。	380
8月20日(土)	関連企画 チェンバロの移動楽器博物館	甲賀市あいこうか市民ホール 展示室	ピアノのルーツを探りながら、鍵盤楽器の構造を学ぶとともに、日頃、目にすることが少ない楽器や、触れる機会のない沢山の楽器に実際に触れられる体験型講座を実施した。	19
10月8日(土) ～10日(月・祝)	関連企画 六古窯サミット アートピアノライブ	滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館	やまなみ工房でアールブリュットデザインされたピアノで、3名のピアニストによるライブを実施した。 (ピアニスト:花田えみ、松尾優、岸本良平) (各日とも1日2回公演)	415
8月21日(日)	自主企画 オーケストラ・ムジカ・チェレステ演奏会	日野町町民会館わたむきホール虹	日野町で2年に1度演奏会をひらくオーケストラ・ムジカ・チェレステ。今回は、ソリストに注目の若手ヴァイオリニスト荒井里桜を迎え開催した。	332
7月29日(金)		関連企画 ミニコンサート for こども食堂(寺子屋食堂)	日野町で2年に1度演奏会をひらく「オーケストラ・ムジカ・チェレステ」のメンバーであるオーボエとヴィオラの演奏者による、こども食堂の皆さんを主な対象としたミニコンサートを開催した。	70
9月25日(日)	STEELPAN ORCHESTRA ぶらすANISONプラスDANCEライブ	みずほ文化センター	「世界で最も人の心を癒やす音色」として注目されるドラム缶から生まれた楽器スティールパン。全国区で活躍するスティールパンオーケストラとアニソン歌手に、地元若手タップダンサーを加えた一日限りのオリジナル企画公演を開催した。	141
9月24日(土)	関連企画 スティールパン・ワークショップ		スティールパンオーケストラ“PAN NOTE MAGIC”のメンバーを講師に、実際にスティールパンを叩いて曲を演奏する体験型ワークショップを実施した。	30
10月16日(日)	祭・息づく太鼓	伊吹薬草の里文化センター	公演を通して、太鼓や伝統文化への関心を高め、継承や保存に繋がっていくことを目的に開催した。 出演：太鼓芸能集団 鼓童、焔太鼓ユニット、イブキッズ	332
9月6日(火) ～ 10月16日(日)	関連企画 パネル展示	伊吹薬草の里文化センター ホワイエ	「米原のまつり 歴史を紐解く」と題した写真パネル、太鼓、獅子等の展示のほか、近江に伝わる太鼓踊りを動画で紹介した。	3,792
10月29日(土)	滋賀県文化賞・文化奨励賞・次世代文化賞受賞者によるコンサートCelebration2022 中川彩フルートの世界	ガリバーホール	高島市出身のフルート奏者 中川彩が、ゲストに堀内星良（ヴァイオリン）と今川裕代（ピアノ）を迎えて、エスプリとノスタルジーをテーマにコンサートを開催した。	189
7月9日(土)	協働制作 アウトリーチ企画 「フルート・アンサンブルクリニック」	①高島市立湖西中学校	高島市出身の注目アーティスト、中川彩を講師に招き、吹奏楽の指導を行うクリニックを実施した。 ①湖西中学校 合奏指導 ②今津中学校 合奏指導 ③市内中学生（希望者）の個人レッスン	25
		②高島市今津東コミュニティセンター		22
		③高島市藤樹の里文化芸術会館		3
12月3日(土)	滋賀県文化賞・文化奨励賞・次世代文化賞受賞者によるコンサートCelebration2022 クレア音楽の時間Vol.3 教えて！「詩人 野呂昶の世界」	草津市立草津クレアホール	草津市出身のピアニスト稲垣聡を講師に、ゲストにパーカッショニスト宮本妥子、ソプラノ 田島茂代、草津吹奏楽団、草津市合唱連盟（女声）を迎え、演奏とトークも交え野呂昶の魅力を伝えた。	198

実施日	事業名		実施場所	事業概要	入場者数 (人)
	協 働 制 作	おうみ狂言図鑑2023		滋賀県を題材に制作した新作狂言のほか古典演目を上演し、狂言の「笑い」と「近江」の魅力を発信した。 【出演】茂山千五郎家	
1月21日(土)			草津市立草津クレアホール (終演後、アフタートーク)	【演目】新作：「琵琶姫」 古典：「文荷」、「墨塗」	275
1月29日(日)			日野町民会館わたむきホール虹	【演目】新作：「琵琶姫」 古典：「清水」、「長光」	118
2月19日(日)			愛荘町立ハーティーセンター秦荘	【演目】新作：「琵琶姫」 古典：「瓜盗人」、「惣八」	180
3月26日(日)			びわ湖ホール 中ホール	【演目】新作：「琵琶姫」 古典：「磁石」、「梟」	256
合計 8事業 26公演					7,197

(イ) 受託事業

障害者の文化芸術活動を支える拠点づくり事業のほか、滋賀県芸術文化祭、県内文化情報提供事業など3事業20公演を実施した。

実施日	事業名	実施場所	事業概要	入場者数 (人)
毎月2回 開催(R4.6～ R5.3)	アートと社会の相談室	オンライン開催	文化芸術による共生社会づくりの活動に携わる方や、こうした活動に興味のある方が気軽に個別相談できるオンライン窓口を設置し、活動における課題の解消を図った。 相談件数: 4件	4
7月25日(月) 9月28日(水) 11月16日(水)	焚き火ミーティング	オンライン開催	文化芸術に携わる方、福祉に携わる方など、多様な方が普段の活動で感じている思いや、考えを深めたいと思うトピックについて、他のメンバーとの対話を通じて、思考を柔軟にほぐしながら共に学びを深めていくオンライン・ミーティングを実施した。 今年度は、回ごとにテーマを設ける形とし、前年度のアンケートで関心の高かった3つのトピックについて開催した。 ＜テーマ＞ 第1回:「創造の“場”を考える」 第2回:「地域の特色ある文化と共生社会のつながり」 第3回「障害の有無にかかわらず、誰もが参加できる文化芸術のあり方」 主な参加者: 県内外の公立文化施設職員、民間の文化施設運営者、文化芸術団体職員(NPO法人)、フリーランスのアートマネージャー、アーティスト、文化芸術の中間支援団体職員、地域おこし協力隊員 等	11 8 5
8月22日(月) 10月19日(水) 12月9日(金)	文化芸術と共生社会を考えるトークカフェ	オンライン開催	滋賀で文化芸術、福祉、コミュニティづくりなど様々な領域で活躍している人、関心がある人たちが同士のつながりが生まれる、オンライン上のトークイベントを実施した。「文化芸術と共生社会」をテーマに、県内外で様々な実践活動をしている方をゲストに招き、活動内容や活動を通しての思いなどをお話し頂き、テーマについて参加者が共に学びを深めた。 ＜テーマ＞ 第5回: 既存の価値観を揺さぶる、障害福祉とアートの現場 第6回: 障害の有無を超えて人生を伝える～るんびにい美術館とであい授業 第7回: 地域で持続可能な活動基盤を作るために 主な参加者: 県内外の公立文化施設職員、民間の文化施設運営者、文化芸術団体職員(NPO法人)、フリーランスのアートマネージャー、アーティスト、文化芸術の中間支援団体職員、研究者、地域おこし協力隊員等	25 11 15
	誰もが参加し楽しめる文化芸術プログラム		昨年度に実施した取組の成果と課題を踏まえ、その取組をさらに発展・継続するプログラムや、地域の理解を促進し、人的リソースの開拓とネットワークの構築を図るプログラムを、市町の文化施設や地域の活動者等と連携して企画・実施した。 実施箇所: 2箇所(守山市、長浜市)	
11月27日(日) ※1日3回開催	①守山市民ホール×湖南ダンスカンパニー 「くらすダンスホール～うみのはた大作戦!～」 プログラム1 湖南ダンスカンパニーと一緒に“うみのはた”をつくろう!～びわ湖色の藍染めで～	守山市民ホール 工芸室	プログラム1では、アーティスト・草笛由美子氏、湖南ダンスカンパニーのメンバー、一般公募の参加者などで「うみのはた」の染色ワークショップを実施した。	18
1月27日(金) ～29日(日)	プログラム2 うみのアトリエ	守山市民ホール 展示室	プログラム2では、「うみのはた」をまだ持っていない人に向けて、「うみのアトリエ」と題したペイントコーナーを設置し参加者は自由にペイントを楽しんだ。また会場では昨年守山市民ホールで作成された「びわこカーペット」や、これまでの湖南ダンスカンパニーの活動も展示した。	46
1月29日(日)	プログラム3 くらすダンスホール ～うみのはた大作戦!～	守山市民ホール 小ホール	プログラム3では、小ホールにて「くらすダンスホール～うみのはた大作戦!～」を開催。制作されたうみのはたを持ち寄り、湖南ダンスカンパニーメンバーに加え、一般公募の「おどる人」が参加して、ともにパフォーマンスを楽しんだ。福祉施設や県内の特別支援学校、個人等から寄せられた「うみのはた」の写真は、映像に編集してパフォーマンスの中で上映した。	36
1月7日(土)	②長浜から文化芸術と共生社会を考えるワークショップ シリーズ 文化芸術と地域社会をめぐるまなざしとモノサシの見つけ方 第1回 演劇体験編 老いと演劇のワークショップ ～演劇の「まなざし」が福祉を変える～	長浜まちづくりセンター	第1回:「老いと演劇」OiBokkeShiの菅原直樹を講師に迎え、演劇体験を通じて認知症の人とのコミュニケーションを考えるワークショップを実施。様々な年齢・経歴の参加者を交えて介護する側、される側を演劇を通して体験することで、ケアの気づきとヒントを得ることができた。	16

実施日	事業名	実施場所	事業概要	入場者数 (人)
2月3日(金)	第2回 対話編 文化と共生社会に関する対話 のワークショップ ～文化芸術と 共生社会のつながりを考える～	長浜カイコー	第2回:(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員 の大澤寅雄氏を講師に迎え、共生社会づくりにつながる文化芸術活 動とはどのようなものか、また、その価値を伝えるにはどのような「モ ノサシ」があれば良いかを考えるワークショップを実施。参加者が積 極的に意見を出し話しあい、共生社会について正面から向き合いそ の価値観に刺激を与え合うことができた。	24
随時	リサーチラボ	ホームページ 等に掲載	地域のことを知り、文化芸術以外の分野の方とのネットワーク構築を 目的として、地域で活躍されている5つの分野(福祉、まちづくり、地 域ビジネス、医療、国際交流)の方に、活動の内容や地域の現状を伺 い、今後の文化芸術活動との連携の可能性についてリサーチを行っ た。	—
2月13日(月)	事業成果報告会	オンライン開催	本事業の成果やノウハウ等を文化芸術関係者や福祉関係者等と共 有するとともに、関係者のさらなるネットワークを構築するため、事業 成果報告会を企画、実施した。	15
8月27日(土)	滋賀県芸術文化祭オープニング イベント 「つながる ひろがる アートひろ ば」	栗東芸術文 化会館 さくら	県内文化団体等と協働し、親子で楽しめるコンサートやワークショップ 等が一堂に会する次世代育成イベントを開催。文化団体相互の交 流を促すとともに、滋賀県芸術文化祭の周知を図った。	1,797
8月27日(土) ～ 1月31日(火)	第52回 滋賀県芸術文化祭参加 事業	県内(199事業)	文化芸術の創造活動の成果や鑑賞の機会を広く県民に提供する。 芸術文化祭が主催する3つの公募事業に加え、実行委員会が参加事 業として承認した199事業(出演者・出品者51,474人)をPR。	272,867
9月13日(火) ～9月19日 (月・祝) 台風の為、 18日で終了	第61回 滋賀県写真展覧会	滋賀県立美 術館 ギャラリー	県民が日頃の写真創作の成果を発表する場として、また身近に芸術 を鑑賞する場として開催した。 〔出品点数〕579点(内、18歳以下5点) 〔入賞・入選作品数〕入賞17点、入選108点 ※台風の為、表彰式および審査員による講評会を中止した。	1,420
11月23日 (水・祝)	第72回 滋賀県文学祭	滋賀県立男 女共同参画 センター	県民が文学に関する日頃の創作活動の成果を発表する場として開 催。11月23日には表彰式および文芸講演会、各部門毎に選者との懇 談会を実施した。 〔部 門〕 小説、随筆、詩、作詞、短歌、俳句、川柳、冠句 〔応募総点数〕743点(内、18歳以下9点) 〔入賞・入選作品数〕入賞60点、入選93点 〔文芸出版物表彰〕応募作品2点(表彰作品2点) 〔文芸講演会〕 演題:「日野商人と文学～童謡詩人 細川雄太郎の生涯～」 講師:近江日野商人館館長 満田良順氏 〔その他〕 入賞作品を掲載した「滋賀文学2022」を発行し(1,240部)、出品者への 配本のほか、県内図書館、高等学校等に寄贈	250
【前期】 12月8日(木) ～13日(火) 【後期】 12月16日(金) ～21日(水)	第76回 滋賀県美術展覧会	滋賀県立美術館	県民が日頃の創作活動の成果を発表する場、また、身近に芸術を鑑 賞する場となることを目指し開催した。 会期中、表彰式および部門毎に審査員による講評会を実施した。 〔部 門〕平面、立体、工芸、書 〔出品点数〕467点(内、18歳以下58点) 〔入賞・入選作品数〕入賞53点、入選264点	2,856
通年	県内文化情 報提供事 業	湖国文化情報 『れいかる』編集・発行事業	県内各地の文化施設等で行われる各種の文化芸術情報を発信した。 〔発行〕 年5回(6月1日・8月1日・10月1日・12月1日・3月1日発行) 〔発行部数〕30,000部 〔配 布 先〕県内市役所町役場、公共文化施設、図書館、公民館、金融機関、 商業施設等491箇所	
	総合文化誌 『湖国と文化』提供事業	季刊誌『湖国と文化』を県内外の図書館や教育機関等に配本し、滋賀の文化の魅 力を発信した。 〔提供〕年4回 〔提供部数〕1回420冊 〔提供先〕県内外の図書館、大学・短期大学、美術館・博物館、滋賀県人会、 報道機関、県内市町など417箇所		
合計 3事業 20公演				279,424

(ウ)独自事業

「文化で滋賀を元気に！」を合言葉に文化・経済・学術・行政等の各分野の人たちの交流を目的に発足した「文化・経済フォーラム滋賀」の事務局を担い、文化と様々な分野連携した創造的な活動が広がるよう各種事業を実施した。

実施日	事業名	事業概要	備考
通年	文化・経済フォーラム滋賀	「文化で滋賀を元気に！」する各種事業を実施。 ①「2022文化で滋賀を元気に！賞」 募集期間 8月～10月 表彰式 2月25日(土) びわ湖ホール 小ホール 大賞1点、各賞3点 ②文化経済サロン 9月11日(日) 蘆花浅水荘(大津市) 12月15日(木) びわ湖ホール研修室 ③滋賀アートプラットフォーム事業 びわ湖・アーティスト・みんぐる2022 6月～10月 近江鉄道沿線 ④文化ビジネス塾 11月6日(日) 滋賀県立文化産業交流会館 小劇場 ⑤第13回総会・講演会 2月25日(土) びわ湖ホール 小ホール ⑥シンボルマークの利用促進 通年	会員状況 162名
合計 1事業			

Ⅱ 事業実績

2 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

(1) 自主事業

ア 令和4年度自主事業

びわ湖ホール独自の自主制作による創造活動を基礎にしながら、県民をはじめ多くの方々に国際的水準の舞台芸術を最高の鑑賞条件で提供するとともに、誰もが舞台芸術の楽しみを味わい、繰り返し来場いただけることを目指して、オペラをはじめ、オーケストラ、室内楽、ダンス、演劇、伝統芸能など幅広い多彩なジャンルで国内外の優れた公演を開催した。また、「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律（平成24年6月施行）」に謳われた劇場等や演奏団体の相互連携、地域における実演芸術の振興、人材の養成・確保、学校教育との連携などに積極的に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を受けて、海外アーティストの招聘は引き続き困難な状況であったが、国内アーティストを中心に事業を行うとともに、引き続き、専属声楽アンサンブルの積極的な活用やアウトリーチの強化等に努めた。また、16年間芸術監督を務めた沼尻竜典の任期満了となる年度でもあり、合計77事業、208公演を行い、感染対策を講じつつ精力的な事業の展開を図った。

プロデュースオペラでは、ワーグナー作曲『ニュルンベルクのマイスタージンガー』を3月2日、5日と大ホールで、セミ・ステージ形式により上演し、これをもってワーグナーの主要オペラ10作品の上演を完遂し、沼尻竜典は、日本人として初めて1つの劇場で10作全てを指揮した。また、11月には、沼尻竜典オペラセレクションの最終作として、日生劇場と提携したロッシーニ作曲『セビリアの理髪師』を2公演上演した。「オペラへの招待」シリーズでは、7月にヴェルディ作曲『ファルスタッフ』を、1月に林光作曲『森は生きている』を中ホールにて、それぞれ4公演を上演した。

音楽公演は、令和2年、令和3年に引き続きジルヴェスター・コンサートを昼間に開催したほか、ドイツのゲッティンゲン交響楽団の芸術監督兼首席指揮者を務めるニコラス・ミルトンの指揮による名曲コンサート、世界の第一線で活躍するアリス＝紗良・オットのピアノ・リサイタルのほか、びわ湖ホール声楽アンサンブルによる童謡や唱歌、昭和・平成の名曲で綴る「美しい日本の歌」コンサートも前年度に引き続き開催した。

また、10月に開催した「北村朋幹 20世紀の邦人ピアノ作品」が、前日に県立美術館と連携した関連企画「北村朋幹×ジョン・ケージ」と合わせて「第22回佐治敬三賞」を受賞するなど、高い評価を得た。

ダンスでは、2001年共同制作・日本初演した山海塾の「かがみの隠喩の彼方へーかげみ」のリ・クリエーションを文化庁の劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業による助成を受けて、KAAT 神奈川芸術劇場制作の「星の王子さま」を上演した。

演劇では、二兎社による「歌わせたい男たち」、古典芸能では、人間国宝の坂東玉三郎の「お話と素踊り」、野村万作・野村萬斎狂言公演を上演した。

地域の賑わいの創出と経済の活性化に向け、地元企業や団体と連携し、芸術監督 沼尻竜典がプロデュースする音楽祭「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭 2022」や「びわ湖大津 秋の音楽祭」などのフェスティバルを開催し、びわ湖ホールをより身近なホールとして親しんでいただく機会を提供した。

また、広く舞台芸術の普及を図るため、びわ湖ホール声楽アンサンブルによる活動を展開した。県や教育委員会と連携した「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」（「ホールの子」事業）を6日間12公演開催するとともに、「学校巡回公演」、「ふれあい音楽教室」、県内巡回オペラ『泣いた赤おに』を実施するなど、県内小中学校へのアウトリーチを強化し、次代を担う青少年や子どもたちが舞台芸術に触れる機会の提供に努めた。

さらに、夏休み子ども向け企画として、子どもたちにピアノの構造を知ってもらい、音楽や楽器に興味を持ってもらうことを目的に、「ピアノ解体ショー」を初めて開催した。

次世代の音楽家の育成を図るため、オペラ指揮者セミナーや声楽曲研修を実施し、その指導

の様子を一般に公開するとともに、「ザ・ファーストリサイタル」を開催し、本県の若手演奏家に初めてのリサイタルの場を提供するなど、舞台芸術の普及・振興に努めた。

なお、ロビーコンサートは、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、昨年度に引き続き中止した。

イ 令和４年度受託事業

文化庁委託事業である「文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－」として北陸地方や京都府等の小中学校７校において、声楽アンサンブルによるオペラ『泣いた赤おに』を上演し、その関連企画として事前にワークショップ「ふれあい音楽教室」を開催した。

令和４年度【自主事業】

びわ湖ホール

区 分		事 業 数 (内 訳)		公演数	入場者数
自主公演	大ホール	12 (14)	オペラ：２、オーケストラ：４、室内楽・声楽：５、古典芸能：１	18 (32)	20,428 (21,383)
	中ホール	9 (7)	オペラ：２、ダンス：２、室内楽・声楽：３、演劇：１、古典芸能：１、	17 (11)	7,437 (4,747)
	小ホール	10 (5)	ジャズ・ワールドミュージック：１、室内楽・声楽：９	25 (10)	6,330 (2,195)
	その他	1 (1)	室内楽・声楽：１	1 (1)	352 (286)
	計	32 (27)	オペラ：４、オーケストラ：４、ダンス：２、ジャズ・ワールドミュージック：１、室内楽・声楽：１８、演劇：１、古典芸能：２	61 (54)	34,547 (28,611)
普及事業		24 (14)	学校巡回公演：１、音楽会へ出かけよう：１、ふれあい音楽教室：１、県内巡回オペラ：１、ホスピタルコンサート：１、夏休み企画：１、ザ・ファーストリサイタル：１、トライアングル講座：１、オペラ講座：１、ワグナー・ゼミナール：１、指揮者セミナー：１、声楽曲研修：１、アンサンブルの楽しみ：１、室内楽への招待関連企画講座：１、県立美術館連携：１、プレトーク：１、ワークショップ：１、音楽祭サテライト公演：１、ピアノコンクール：１、舞台技術研修：１、その他：１	108 (67)	22,847 (14,869)
受託事業		1 (2)	文化芸術による子供育成推進事業：１	14 (25)	3,118 (3,846)
共催等		20 (18)	連携：１、共催：１３、協力：６	25 (21)	11,216 (7,512)
合 計		77 (61)		208 (167)	71,728 (54,838)

() は前年度実績

【配信事業】

区 分	事 業 数 (内 訳)	公演数	視聴者数
自主公演	6 オペラ：1、オーケストラ：1、室内楽・声楽：3、演劇： (6) 1	7 (19)	3 3 2 (549)

() は前年度実績

(ア)大ホール

プロデュースオペラ『ニュルンベルクのマイスタージンガー』をはじめ、オーケストラ、室内楽・声楽公演など12事業18公演を行った。

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
4月30日(土)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 30-2「オープニング・コン サート」	指揮:沼尻竜典 ピアノ:小山実稚恵 ソプラノ:砂川涼子 管弦楽:京都市交響楽団 曲目: 開会宣言(滋賀県知事 三日月大造) 沼尻竜典:トゥーランドットのファンファーレ カタラーニ:『フリー』より“さようなら、故郷の家よ”(ソプ ラノ独唱:砂川涼子) ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番(ピアノ独奏:小山実稚 恵)	1,675 完売	室内楽・声楽等
4月30日(土)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 30-5「大阪フィルハーモ ニー交響楽団・鈴木優人」	指揮:鈴木優人 管弦楽:大阪フィルハーモニー交響楽団 曲目: シューベルト:交響曲 第7番「未完成」 ベートーヴェン:交響曲 第5番「運命」	1,618	室内楽・声楽等
5月1日(日)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 01-3「京都市交響楽団・高関 健(指揮)・牛田智大(ピ アノ)」	指揮:高関健 ピアノ:牛田智大 管弦楽:京都市交響楽団 曲目: ショパン:ピアノ協奏曲 第2番 ビゼー:アルルの女 第2組曲	1,760 完売	室内楽・声楽等
5月1日(日)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 01-6「グランド・フィナーレ」	指揮:沼尻竜典 出演:上村文乃(チェロ)、伊藤 晴(ソプラノ)、晴 雅彦(バ リトン)、宮里直樹(テノール) 管弦楽:大阪フィルハーモニー交響楽団 司会:沼尻竜典、富平安希子 曲目: チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲 プッチーニ:『蝶々夫人』より“ある晴れた日に” モーツァルト:『フィガロの結婚』より“訴訟に勝っただ と?” 沼尻竜典:『竹取物語』より“帝に捧げるアリア” プッチーニ:『トゥーランドット』より“誰も寝てはならぬ” レスピーギ:交響詩「ローマの松」	1,437	室内楽・声楽等
5月21日(土)	<特別コンサート>アリス＝ 紗良・オット ピアノ・リサイ タル Echoes Of Life	出演:アリス＝紗良・オット(ピアノ) 映像デザイン:ハカン・デミレル(建築家) 曲目: ショパン:24の前奏曲 op.28 フランチェスコ・トリスターノ:イン・ザ・ビギニング・ワズ ジェルジュ・リゲティ:ムジカ・リチエルカータ 第1曲 ニーノ・ロータ:ワルツ チリー・ゴンザレス:前奏曲 嬰ハ長調 武満 徹:リタニ 第1曲 アルヴォ・ペルト:アリーナのために アリス＝紗良・オット:ララバイ・トゥ・エターニティ(モー ツァルト:《レクイエム》“ラクリモーサ”より) <アンコール曲> サティ:グノシエンヌ 第1番	933	室内楽・声楽等

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
6月11日(土)	<名曲コンサート>前橋汀子 ヴァイオリン・リサイタル	出演:前橋汀子(ヴァイオリン)、ヴァハン・マルディロシアン(ピアノ) 曲目: ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調 op.24「春」 J.S.バッハ:シャコンヌ(無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番 二短調 BWV 1004より) クライスラー:愛の喜び ドビュッシー(ハルトマン編):亜麻色の髪の乙女 クライスラー:ブニャーニの様式による前奏曲とアレグロ シューベルト(ヴィルヘルミ編):アヴェ・マリア ショパン(サラサーテ編):ノクターン op.9-2 サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ op.28 <アンコール曲> フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 第1・2楽章 サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン マスネ:タイスの瞑想曲	635	室内楽・声楽等
11月20日(日)	坂東玉三郎 お話と素踊り	[演目] ◆坂東玉三郎トークコーナー 司会:黒田恵美 ◆地歌作物「勤行寺」(演奏のみ) 富山清琴(三絃・歌) 富山清仁(三絃・歌) ◆地唄舞「雪」 坂東玉三郎(素踊り) 富山清琴(箏) 富山清仁(三絃・歌)	704	古典芸能
11月26日(土)	沼尻竜典オペラセレクション ロッシーニ作曲 オペラ『セビリアの理髪師』(全2幕/イタリア語上演・日本語字幕付) オペラ主催公演	指揮:沼尻竜典 演出:栗國淳 アルマヴィーヴァ伯爵:中井亮一 / 小堀勇介 ロジーナ:富岡明子 / 山下裕賀 フィガロ:須藤慎吾 / 黒田祐貴 バルトロ:黒田博 / 久保田真澄 ドン・パジリオ:伊藤貴之 / 斉木健詞 ベルタ:種谷典子 / 守谷由香 フィオレッタ:宮城島康* / 川野貴之* *…びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー 管弦楽:日本センチュリー交響楽団 ギター:黄敬 チェンバロ:平塚洋子 合唱:C.ヴィレッジ シンガーズ	724	オペラ
11月27日(日)			714	
12月3日(日)	有料ライブ配信 びわ湖ホール声楽アンサンブル 美しい日本の歌	指揮:本山秀毅 管弦楽:京都フィルハーモニー室内合奏団 司会:竹内直紀 出演:びわ湖ホール声楽アンサンブル [曲目] ◆琵琶湖周航の歌 ◆この道 ◆青い山脈 ◆日本の四季 春:荒城の月 夏:夏の思い出 秋:ちいさい秋みつけた 冬:雪の降るまちを ◆翼をください ◆昭和・平成のヒット曲 宇宙戦艦ヤマト、異邦人-シルクロードのテーマ-、 昴、TRUE LOVE、糸、 2億4千万の瞳-エキゾチック・ジャパン、 魅せられて、大空と大地の中で、 手紙～拝啓 十五の君へ～、世界に一つだけの花 <アンコール曲> 明日があるさ	828	室内楽・声楽等

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
12月31日(日)	有料ライブ配信	指揮:沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督) 打楽器:ルガーノ・パーカッション・アンサンブル 司会:桂 米團治 管弦楽:大阪交響楽団 独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル 合唱:ジルヴェスター合唱団(一般参加) ファンファーレ:ジルヴェスター・ファンファーレ隊 構成・台本:中村敬一 [プログラム] A.ヒナステラ:マランボ J.シュトラウスⅡ世:オペレッタ『こもり』序曲 M.シュタイナウアー:ソット・アクア(世界初演) 打楽器:ルガーノ・パーカッション・アンサンブル R.シュトラウス:『ばらの騎士』組曲 J.ヴァンデルロースト:Yokohama Festival Fanfare C.オルフ:『カルミナ・ブラーナ』(全曲) ソプラノ:熊谷綾乃、テノール:清水徹太郎、バリトン:市 川敏雅 J.シュトラウスⅡ世:ポルカ「雷鳴と電光」 指揮:桂 米團治 <アンコール曲> J.シュトラウスⅠ世:ラデツキー行進曲	1,264	オーケストラ
	有料アーカイブ配信			
12月31日(日)	びわ湖ホールジルヴェ スター・コンサート 2022			
1月22日(日)	気軽にクラシック33 船越重 弥 今届けたい歌	[出演] 船越重弥(ソプラノ)、大久保 亮(テノール)、大塚千草(ピ アノ) [曲目] ヴォルフ:祈り、隠棲 R.シュトラウス:万霊節 シューベルト:音楽に寄す、ガニユメート リスト:愛せよ お前が愛しうる限り(愛の夢) 高田三郎:くちなし 林 光:祈り 小林秀雄:落葉松 カタラーニ:歌劇<ラ・ワリー>より さよなら故郷の家 よ ヴェルディ:歌劇<椿姫>より 乾杯の歌* レハール:喜歌劇<メリー・ウイドウ>より 唇は語らずと も* *大久保 亮(テノール)との二重唱 <アンコール曲> 越谷達之助:初恋 ワーグナー:歌劇『タンホイザー』より 汝、貴き殿堂よ	571	室内楽・声楽等
2月5日(日)	<名曲コンサート>華麗なる オーケストラの世界vol.5 ニコラス・ミルトン指揮 日本 センチュリー交響楽団	指揮:ニコラス・ミルトン 管弦楽:日本センチュリー交響楽団 曲目: ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」 ドヴォルジャーク:交響曲第9番「新世界より」 <アンコール曲> ドヴォルジャーク:スラヴ舞曲集第1集第1番	1,403	オーケストラ

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
3月2日(木)	びわ湖ホール プロデュース オペラ ワーグナー作曲『ニュルンベルクのマイスタージンガー』(ドイツ語上演・日本語字幕付/セミ・ステージ形式/全3幕)	【指揮】 沼尻竜典 【ステージング】 栗國淳 【出演】 ハンス・ザックス:青山 貴 ファイト・ボーグナー:妻屋秀和 クンツ・フォーゲルゲザング:村上公太 コンラート・ナハティガル:近藤 圭 ジクストウス・バックメッサー:黒田 博 フリッツ・コートナー:大西宇宙 バルタザール・ツオルン:チャールズ・キム ウルリヒ・アイスリンガー:チン・ソンウォン アウグスティン・モーザー:高橋 淳 ヘルマン・オルテル:友清 崇 ハンス・シュヴァルツ:松森 治* ハンス・フォルツ:齊木健詞 ヴァルター・フォン・シュトルツィング:福井 敬 ダフィット:清水徹太郎* エファ:森谷真理 マグダレーネ:八木寿子 夜警:平野 和 *びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー 【合唱】 びわ湖ホール声楽アンサンブル 【管弦楽】 京都市交響楽団	1,275	オペラ
3月5日(日)			1,556 完売	
3月12日(日)	帰ってきたびわ湖ホール四大テノール ウルトラスーパー パースベシャルゲスト福井 敬	【出演】 福井 敬 びわ湖ホール四大テノール(清水徹太郎、竹内直紀、山本康寛) 植松さやか(ピアノ) 【曲目】 琵琶湖周航の歌 R.レオンカヴァッロ:Mattinata ～朝の歌～ G.ロッシーニ:La promessa ～約束～ G.ロッシーニ:L'orgia ～饗宴～ E.グリーク:Ich liebe dich ～君を愛す～ S.ガスタルドン:Musica proibita ～禁じられた音楽～ F.ワイルドホーン:ミュージカル『ジキル&ハイド』より“時が来た” P.ソロサバル:サルスエラ『酒場の港女』より“そんなことはありえない” C.グノー:オペラ『ファウスト』より“清らかな住まい” R.ワーグナー:『ニュルンベルクのマイスタージンガー』より“朝は薔薇色に輝き” カルロ・マツラー:Odisea～オデュッセイア～ テノールdeコント 帰ってきたシン・ウルトラ音楽隊～ついに大隊長が帰ってくる (友情出演:古屋彰久) ラ・ダンツァ～勿忘草～恋する兵士～サンタ・ルチア～マンマ～カタリ～カタリ～ヴォラーレ <アンコール曲> クロード・フランソワ:マイウェイ 宮川彬:マツケンサンバⅡ エドゥアルド・ディ・カプア:オーソレミオ	823	室内楽・声楽等
3月19日(日)	マーラー・シリーズ 沼尻竜典 ×京都市交響楽団	【指揮】 沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督) 【管弦楽】 京都市交響楽団 【曲目】 マーラー:交響曲 第6番 イ短調「悲劇的」	1,280	オーケストラ

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
3月21日(火)	子どものための管弦楽教室 「オーケストラの楽器に注目！」	【指揮】藤岡幸夫(関西フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者) 【管弦楽】関西フィルハーモニー管弦楽団 【司会】空井仁美 【曲目】 メンデルスゾーン:劇音楽「真夏の夜の夢」より “結婚行進曲” モンティ:チャルダッシュ ビゼー:「アルルの女」第2組曲より “メヌエツト” “ファランドール” チャイコフスキー:バレエ「くるみ割り人形」より “花のワルツ” J.シュトラウスⅠ世:ラデツキー行進曲(指揮者体験コーナー) ピアソン:ヒップリップスⅡ(ボディパーカッションでみんなも参加) エルガー:行進曲「威風堂々」第1番 <アンコール曲> J.シュトラウスⅡ世:ポルカ「雷鳴と電光」	1,228	オーケストラ
合 計 12事業 18公演			20,428	

(イ)中ホール

オペラへの招待『森は生きている』をはじめ、オペラ、演劇、ダンス、古典芸能など9事業17公演を行った。

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
5月22日(日)	山海塾「かがみの隠喩の彼方へーかげみ」リ・クリエーション	演出・振付・デザイン:天児牛大 舞踏手:竹内 晶、市原昭仁、松岡 大、石井則仁、岩本大紀、高瀬 誠、伊藤壮太郎 <ポストトーク> 細川周平(評論家)、蟬丸(山海塾舞踏手・演出助手)	495	ダンス
7月15日(金)	有料ライブ配信 有料アーカイブ配信	指揮:園田隆一郎 演出・お話:田口道子 管弦楽:大阪交響楽団	348	オペラ
7月16日(土)	オペラへの招待 ヴェルディ 作曲 歌劇『ファルスタッフ』 (全三幕、イタリア語上演/日本語字幕)	【キャスト】びわ湖ホール声楽アンサンブルほか ファルスタッフ:平 欣史(15, 17)、青山 貴** (16,18) フォード:市川敏雅(全日) フェントン:清水徹太郎*(15,17,18)、有本康人(16) カイウス:宮城朝陽(15,17)、古屋彰久*(16,18) バルドルフォ:谷口耕平(15,17)、奥本凱哉(16,18) ピストーラ:林 隆史*(全日) アリーチェ:山田知加(15)、山岸裕梨(16,17,18) ナンネッタ:脇阪法子(15,17)、熊谷綾乃(16,18) クイックリー夫人:中島郁子*(15,16,17)、藤居知佳子(18) メグ・ペイジ:阿部奈緒(15,17)、坂田日生(16,18) *...びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー **...客演	353	
7月17日(日)			362	
7月18日(月・祝)			440	
11月19日(土)	有料ライブ配信 有料アーカイブ配信	指揮:大川修司 ピアノ:越知晴子 舞台構成・字幕:中村敬一 プッチーニ:歌劇『ラ・ボエーム』より 「冷たい手を〜私の名はミミ〜ああ、かわいいお嬢さん」 山岸裕梨(ミミ)、宮城朝陽(ロドルフォ)、平 欣史(マル チェット)、市川敏雅(シヨナール)、美代開太(コッリー ネ) 「私が街を歩けば」 脇阪法子(ムゼッタ) 「さよなら、愛の夢よ」 山岸裕梨(ミミ)、奥本凱哉(ロドルフォ)、平 欣史(マル チェット)、脇阪法子(ムゼッタ) プッチーニ:歌劇『蝶々夫人』より 「ある晴れた日に」「花の二重唱」 山田知加(蝶々夫人)、藤居知佳子(スズキ) プッチーニ:歌劇『ジャンニ・スキッキ』(演奏会形式/イ タリア語上演・日本語字幕付) 市川敏雅(ジャンニ・スキッキ)、山岸裕梨(ラウレッ タ)、阿部奈緒(ツィータ)、有本康人(リヌッチョ)、谷口 耕平(ゲラルド)、熊谷綾乃(ネツ)、美代開太(ベッ ティ・シーニャ)、松森 治*(シモーネ)、平 欣史(マル コ)、坂田日生(チェスカ)、宮城朝陽(スピネロツッチョ先 生、ピネツリーノ)、奥本凱哉(アマンティオ・ディ・ニ コーラオ)、藤居知佳子(グッチョ)、脇阪法子(ゲラル ディーノ) *...びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー	351	室内楽・声楽等
12月4日(日)	野村万作・萬斎狂言	[出演] 野村万作、野村萬斎、深田博治、高野和憲、野村太一 郎、岡 聡史、内藤 連、飯田 豪、野村裕基 [演目] 佐渡狐、竹生嶋参、首引	556 315	古典芸能

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
12月24日(土)	二兎社公演46「歌わせたい男たち」	作・演出:永井 愛 出演:キムラ緑子、山中 崇、大窪人衛、うらじぬの、相島一之 <ポストパフォーマンストーク> 永井 愛、畑 律江(毎日新聞社学芸部専門編集委員)	602	演劇
1月26日(木)	びわ湖ホール オペラへの招待 林光作曲 オペラ『森は生きている』	指揮:沼尻竜典 演出:中村敬一 1月・総理大臣:市川敏雅(26、28日)、平 欣史(27、29日) 2月・延臣:藤居知佳子(26、28日)、奥本凱哉(27、29日) 3月・リス・オオカミ・延臣:坂田日生(26、28日)、船越亜弥*(27、29日) 4月・カラス・警護隊長:有本康人(26、28日)、清水徹太郎*(27、29日) 5月・ウサギ・もう一人の兵士・大使夫人・延臣:藤村江李奈*(26、28日)、大川 繭*(27、29日) 6月・もう一人の娘・リス・延臣:山岸裕梨(26、28日)、森 季子*(27、29日) 7月・むすめ・延臣:脇阪法子(26、28日)、熊谷綾乃(27、29日) 8月・女官長・オオカミ:阿部奈緒(26、28日)、中嶋康子*(27、29日) 9月・おっ母さん・延臣:山田知加(26、28日)、益田早織*(27、29日) 10月・女王:山際きみ佳*(26、28日)、佐藤路子*(27、29日) 11月・兵士:谷口耕平(26、28日)、宮城朝陽(27、29日) 12月・博士・古老:美代開太(26、28日)、松森 治*(27、29日) ピアノ:渡辺治子 管弦楽:日本センチュリー交響楽団 *…びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー	309	オペラ
1月27日(金)			293	
1月28日(土)			378	
1月29日(日)			478	
2月4日(土)		演出・振付・出演:森山開次 美術:日比野克彦 衣裳:ひびのこづえ 音楽:阿部海太郎 出演:森山開次、アオイヤマダ、小尻健太、酒井はな、島地保武、坂本美雨、浅沼圭、五十嵐結也、池田美佳、薄田真美子、川合ロシ、水島晃太郎、南帆乃佳 音楽:佐藤公哉 中村大史	709	ダンス
2月5日(日)	KAAT「星の王子さまーサン＝テグジュペリからの手紙ー」		727	
2月11日(土)	気軽にクラシック34 京都市交響楽団メンバーによるアンサンブル 京都しんふおにえった	出演:交響楽団メンバーによるアンサンブル 京都しんふおにえった 塩原志麻(第1ヴァイオリン)、片山千津子(第2ヴァイオリン)、小田拓也(ヴィオラ・編曲)、渡邊正和(チェロ)、黒川冬貴(コントラバス)、筒井祥夫(クラリネット)、村中 宏(ファゴット)、稲垣路子(トランペット)、中山航介(パーカッション) 【ゲスト】山本康寛*(テノール) *…びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー 【曲目】 ブラームス:ハンガリー舞曲 第5番 「パッヘルベルのカノン」の主題による変奏曲 レハール:喜歌劇『微笑みの国』より「君は我が心のすべて」(テノール:山本康寛) モンティ:チャルダッシュ ガルデル:ポール・ウナ・カベサ ピアソラ:リベルタンゴ ヤング:映画『80日間世界一周』テーマ ロイド・ウェバー:ミュージカル『オペラ座の怪人』より序曲 <アンコール曲> 「燃えよドラゴン」テーマ曲	452	室内楽・声楽等

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
2月18日(土)	176 アン・セット・シス(ピアノ・デュオ)	出演:山中惇史、高橋優介(ピアノ) 曲目: モーツァルト:2台のピアノのためのソナタ K.448 ニ長調 レスピーギ(山中・高橋編):ローマの松 岡野貞一(三善晃編):朧月夜 文部省唱歌(三善晃編):茶摘 ブラームス:2つのラブソディ 第1番 Op.79-1 ニ短調 <山中ソロ> ラヴェル:鏡 第4曲「道化師の朝の歌」ニ短調 <高橋ソロ> ラヴェル:ラ・ヴァルス <アンコール曲> エルガー(高橋優介編):愛の挨拶 J.ウィリアムズ(山中惇史編):『フック』より ネバーランドへの飛行 シャミナード:6つのロマンティックな小品 より リゴードン	269	室内楽・声楽等
合 計 9事業 17公演			7,437	

(ウ)小ホール

室内楽・声楽やワールドミュージック等10事業25公演を行った。

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
4月29日(金)	無料ライブ配信	指揮:大川修司 ピアノ:越知晴子 合唱:近江の春 祝祭声楽アンサンブル(船越亜弥*, 松下美奈子*, 益田早織*, 八木寿子, 清水徹太郎*, 山本康寛*, 五島真澄*, 津國直樹*) *…びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー 曲目: 気球にのってどこまでも(東 龍男 作詞・平吉毅州作曲) 夢の世界を(笑龍明子 作詞・橋本祥路 作曲) 歌えパンパン(阪田寛夫 作詞・山本直純 作曲) 翼をください(山上路夫 作詞・村井邦彦 作曲) あの素晴らしい愛をもう一度(北山 修 作詞・加藤和彦 作曲) 混声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」(源田俊一郎 編曲) 怪獣のパラード(岡田富美子 作詞・東海林 修 作曲) <アンコール曲> 翼をください(山上路夫 作詞・村井邦彦 作曲)	完売	室内楽・声楽等
	無料アーカイブ配信			
4月29日(金)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 前日祭 29-1「素晴らしき日本の歌」	出演:上村文乃(チェロ)、川口成彦(フォルテピアノ) 曲目: ロッシーニ(テデスコ編):“フィガロ”～『セビリアの理髪師』より ショパン: 17のポーランドの歌より 第9曲 メロディ、第1曲 乙女の願い、第10曲 闘士 ショパン:ノクターン 第2番 フランショーム:12のカプリスより 第9曲 ショパン:チェロ・ソナタ <アンコール曲> ショパン:前奏曲 op.28-7	310 完売	室内楽・声楽等
4月30日(土)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 30-1「出会いと別れ ～ 1843年製プレイエルと共に ～」	出演:川口成彦(フォルテピアノ) 曲目: メンデルスゾーン:春の歌 シューマン(リスト編):献呈 ショパン: ピアノ協奏曲 第2番より 第2楽章 バラード 第3番 アルカン:私の大切な束縛 チャイコフスキー:哀歌 ショパン(リスト編):春 使用楽器:プレイエル(1843年製)	311 完売	室内楽・声楽等
4月30日(土)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 30-3「プリモ登場！」	出演:宮里直樹(テノール)、河原忠之(ピアノ) 曲目:ヴェルディ:『リゴレット』より“あれかこれか” “頬の涙が” “女心の歌”、『ルイザ・ミラー』より“穏やかな夜には” プッチーニ:『蝶々夫人』より“さようなら 愛の家よ” グノー:『ロメオとジュリエット』より“ああ、太陽よ昇れ”、 『ファウスト』より“この清らかな住まい” <アンコール曲> ドニゼッティ:『連隊の娘』より “友よ、なんと楽しい日”	277 完売	室内楽・声楽等
4月30日(土)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 30-4「至高の二重奏」	出演:戸田弥生(ヴァイオリン)、清水和音(ピアノ) モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第21番 ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第10番	311 完売	室内楽・声楽等

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
4月30日(土)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 30-6「晴れ晴れコンサート」	出演:晴 雅彦(バリトン)、伊藤 晴(ソプラノ)、河原忠之 (ピアノ) 曲目: ロルツィング:『密猟者』より“明るく愉快に” プッチーニ:『つばめ』より“ドレッタの夢” コルンゴルト:『死の都』より“ピエロの歌” レハール:『メリー・ウイドウ』より“ヴィリアの歌” メンケン:『美女と野獣』より“愛せぬならば” メサジェ:『仮面をつけた愛』より“恋人は二人” バーンスタイン:『ウェスト・サイド物語』より“トゥナイト” <アンコール曲> レハール:『メリー・ウイドウ』より “メリー・ウイドウ・ワル ツ”	277 完売	室内楽・声楽等
5月1日(日)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 01-1「0歳児からのコンサ ート」	出演:富平安希子(ソプラノ)、沼尻竜典(ピアノ) 曲目: 童謡「ことりのうた」、「あめふりくまのこ」、「おはなしゆ びさん」 プッチーニ:『ジャンニ・スキッキ』より“私のお父さん”、 『ラ・ボエーム』より“ムゼッタのワルツ” グノー:アヴェ・マリア シューベルト:子守歌 「サウンド・オブ・ミュージック」より“私のお気に入り” 「マイ・フェア・レディ」より“踊り明かそう” 「ピノキオ」より“星に願いを” <アンコール曲> ブラームス:子守歌	276 完売	室内楽・声楽等
5月1日(日)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 01-2「東京フィル首席奏者 の凱旋!!」	出演:アレッシェンドロ・ベヴェラリ(クラリネット)、蒲生祥 子(ピアノ) 曲目: クララ・シューマン:3つのロマンス サン＝サーンス:クラリネット・ソナタ 変ホ長調 ブラームス:クラリネット・ソナタ 第2番 変ホ長調 <アンコール曲> ドビュッシー:亜麻色の髪の乙女	311 完売	室内楽・声楽等
5月1日(日)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 01-4「オペラ合唱名曲選」	出演:びわ湖ホール声楽アンサンブル、河原忠之(ピアノ) 曲目: ワーグナー:楽劇『ニュルンベルクのマイスタージンガー』 より第一幕冒頭のコーラル ワーグナー:『タンホイザー』より大行進曲“歌の殿堂をた たえよう” ヴェルディ:『イル・トロヴァトーレ』より“鍛冶屋の合唱” カタラーニ:『ワリー』より 第一幕フィナーレ ヴェルディ:『ナブッコ』より“行け、我が想いよ、黄金の翼 に乗って”	260 完売	室内楽・声楽等
5月1日(日)	近江の春 びわ湖クラシック 音楽祭2022 01-5「いざ傑作の森へ! 2」	出演:児玉麻里(ピアノ) 曲目: ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第17番「テンペスト」、ピ アノ・ソナタ 第26番「告別」	311 完売	室内楽・声楽等

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
6月10日(金)	<室内楽への招待> ダネル 弦楽四重奏団	出演: ダネル弦楽四重奏団 マルク・ダネル(ヴァイオリン)、ジル・ミレ(ヴァイオリン)、 ヴラッド・ボグダナス(ヴィオラ)、ヨヴァン・マルコヴィツ チ(チェロ) 曲目: ハイドン:弦楽四重奏曲 第1番 変ロ長調 op.1-1「狩」 ブラームス:弦楽四重奏曲 第1番 八短調 op.51-1 チャイコフスキー:弦楽四重奏曲 第1番 二長調 op.11 <アンコール曲> ヴァインベルク:弦楽四重奏曲 第7番より第2楽章 八長 調 op.59	166	室内楽・声楽等
6月18日(土)	<室内楽への招待> エベー ヌ弦楽四重奏団	出演:エベーヌ弦楽四重奏団 ピエール・コロンベ、ガブリエル・ル・マガデュール(ヴァイ オリン)、マリー・シレム (ヴィオラ)、ラファエル・メルラン (チェロ) 曲目: ハイドン:弦楽四重奏曲 第34番 二長調 op.20-4 Hob.III-34 ヤナーチェク:弦楽四重奏曲 第1番「クロイツェル・ソナ タ」 シューマン:弦楽四重奏曲 第2番 ヘ長調 op.41-2 <アンコール曲> シューマン:色とりどりの小品より 3つの小品 第1曲 op.99-1(弦楽四重奏編曲版)	319 完売	室内楽・声楽等
7月23日(土)	びわ湖の午後61 妻屋秀和 バス・リサイタル	出演:妻屋秀和(バス)、木下志寿子(ピアノ) 第1部 モーツァルト:『魔笛』より“この聖なる殿堂に住む人は” モーツァルト:『フィガロの結婚』より“復讐とは、ああ、復 讐とは!” ロッシニ:『セヴィリアの理髪師』より“陰口と言うやつ はそよ風のようなもので” ベッリーニ:『夢遊病の女』より“ああ、懐かしい大地よ” ドニゼッティ:『ランメルモールのルチア』より“ああ! 我 慢するのです、我慢を” 第2部 ヴェルディ: 『シモン・ボッカネグラ』より“惨めな父親の引き裂かれた 心は” 『ナブッコ』より“神よ、あなたは預言者達の唇を” 『マクベス』より“息子よ、歩みに注意するのだ” 『シチリア島の夕べの祈り』より“ああ、祖国よ” 『ドン・カルロ』より“彼女はわしを愛した事はなかつ た!” <アンコール曲> ヴェルディ:『アッティラ』より“ローマの前で私の魂が”	179	室内楽・声楽等

実施日	事業名	事業概要	入場者数 (人)	分野
9月10日(土)	有料ライブ配信	[出演] 指揮: 本山秀毅(びわ湖ホール声楽アンサンブル桂冠指揮者) チェンバロ: パブロ・エスカンデ 弦楽: アンサンブルSDG(時本さなえ、磯辺 陽(ヴァイオリン)、上川忠昭(ヴィオラ)、野田祐子(チェロ)、田淵陽介(コントラバス)) 独唱・合唱: びわ湖ホール声楽アンサンブル [曲目] G.カッチーニ:「麗しのアマリッリ」 C.モンテヴェルディ:「私を死なせて」 J.カリッシミ:「勝利だ、わが心よ」、オラトリオ『イエフテの物語』より「終曲の合唱」 A.チェステイ:「憧れの人の周りに」、「コリンダよ、さようなら」、歌劇『黄金のリンゴ』より「プロローグ」 A.スカルラッティ:「すみれ」、「ガンジスより陽は昇りぬ」、「私は心に感じる」、オペラ『貞節の勝利』より 四重唱、「ミゼレーレ」 D.スカルラッティ:「恋する蝶のように」 G.F.ヘンデル:「緑の木陰で(ラルゴ)」、「私を泣かせてください」、「ああ、私の心よ」、「優しい眼差しよ」	完売	室内楽・声楽等
	有料アーカイブ配信			
9月10日(土)	びわ湖ホール声楽アンサンブル 第75回定期公演 音楽史の小径～イタリア古典歌曲から辿る～			
9月14日(水)	気軽にクラシック30 中山航介 魅惑の打楽器の世界	[出演] 中山航介、中山美輝(打楽器) [曲目] A.フィリドール: ティンパニのマーチ E.サミュ: リベルタンゴ・ヴァリエーション(マリンバ・ソロ) A.コッパル: ヴィブラフォンとマリンバのためのトッカータ G.スタウト: マリンバのための2つのメキシカン・ダンス 濱口大弥: MEWOTORRID(めをとでゅお委嘱作品)(打楽器デュオ) <アンコール曲> J.S.バッハ: インヴェンション第1番 BWV772 八長調	182	室内楽・声楽等
10月9日(日)	北村朋幹 20世紀の邦人ピアノ作品	[出演] 北村朋幹(ピアノ) [曲目] 武満 徹: 2つのレント(1950) 福島和夫: 水煙(1972) 柴田南雄: ピアノのためのインプロヴィゼーション第2番(1968) 八村義夫: 彼岸花の幻想op.6(1969) 松村禎三: ギリシャによせる二つの子守歌(1969) 甲斐説宗: ピアノのための音楽(1974) 石井真木: ブラック・インテンションⅢ 一息のためのピアノ練習曲(1977) <アンコール曲> 高橋悠治: 秋のオーロラ CANTO I (1988)	161	室内楽・声楽等
10月23日(日)	大人の楽しみ方32 和谷泰扶(ハーモニカ)&松尾俊介(ギター)	[出演] 和谷泰扶(ハーモニカ)、松尾俊介(ギター) [曲目] バッハ: フルートと通奏低音のためのソナタ ホ短調 BWV1034 モーツァルト: 3つのバセットホルンのためのディヴェルティメント No.2 K.Anh.229(K.439b) シューベルト: アルパジョーネ・ソナタ D821より 第1楽章 レクオーナ: マラゲーニャ(ハーモニカ・ソロ) J.トゥリーナ: セビリア風幻想曲(ギター・ソロ) サラサーテ: アンダルシアのロマンス ピアソラ: 『タンゴの歴史』より“カフェ1930”リベルタンゴ、『ブエノスアイレスの四季』より“ブエノスアイレスの冬” <アンコール曲> ピアソラ: オブリビオン ピアソラ: タンティ・アンニ・プリマ	238	ジャズ・ワールドミュージック

実施日	事業名	事業概要	入場者数 (人)	分野
10月29日(土)	<室内楽への招待> カル テット・アマービレ	[出演] カルテット・アマービレ 篠原悠那、北田千尋(ヴァイオリン)、中 恵菜(ヴィオラ)、 笹沼 樹(チェロ) [曲目] ハイドン:弦楽四重奏曲第67番 二長調 op. 64-5, Hob. III:63「ひばり」 三善 晃:弦楽四重奏曲第3番「黒の星座」 ウェーベルン:弦楽四重奏のための緩徐楽章 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第9番 八長調 op.59-3 「ラズモフスキー第3番」 <アンコール曲> ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第13番 変ロ長調 Op. 130 第5楽章 カヴァティエーナ	171	室内楽・声楽等
11月3日(木・祝)	気軽にクラシック31 津國直 樹 ドイツ歌曲 名曲の愉しみ	[出演] 津國直樹(バリトン)、掛川歩美(ピアノ) [曲目] J.S.バッハ:あなたがそばにいたら モーツァルト:すみれ、タバの想い、クローエハ シューベルト:バラの絆、さすらい人の夜の歌 シューマン:「詩人の恋」作品48 <アンコール曲> シューベルト:漁師の歌 シューベルト:楽に寄す	126	室内楽・声楽等
11月6日(日)	びわ湖ミュージックフォレス ト リード希亜奈&久末 航 2 台ピアノコンサート	[出演] リード希亜奈、久末 航(ピアノ) [曲目] モーツァルト:2台のピアノのためのソナタ K.448 二長 調 フォーレ:組曲「ドリー」op.56 ショスタコーヴィチ:2台のピアノのための小協奏曲 op.94 イ短調 ラフマニノフ:組曲 第2番 op.17 <アンコール曲> シューマン:「小さな子供と大きな子供のための12の連 弾小品」より タバの歌 ラフマニノフ:イタリアン・ポルカ	220 完売	室内楽・声楽等
11月23日(水)	びわ湖の午後62 バスカル・ ロジェ	サティ:ジムノペディ 第1番、グノシエンヌ 第2番・第3番 フォーレ:《8つの小品》より「即興曲」嬰ハ短調 op.84-5、即興曲 第2番 ヘ短調 op.31、夜想曲 第1番 変ホ短調 op.33-1、舟歌 第4番 変イ長調 op.44 ラヴェル:《鏡》より「洋上の小舟」、水の戯れ、ソナチネ ドビュッシー:《映像》 第2集より「葉ずえを渡る鐘の 音」「荒れた寺にかかる月」「金色の魚」、《映像》 第1集 より「水の反映」、《版画》「塔」「グラナダのタバ」「雨の 庭」 <アンコール曲>ドビュッシー:喜びの島、月の光	完売	室内楽・声楽等
12月12日(月)	気軽にクラシック32 関西弦 楽四重奏団 バッハに憧れて	[出演] 関西弦楽四重奏団 林 七奈、田村安祐美(ヴァイオリン)、小峰航一(ヴィオ ラ)、上森祥平(チェロ) [演目] J.S.バッハ:フーガの技法(抜粋) フランク:弦楽四重奏曲(抜粋) ベートーヴェン:大フーガ <アンコール曲> J.S.バッハ:汝の御座の前にいまや我は歩み出て	288	室内楽・声楽等

実施日	事業名	事業概要	入場者数 (人)	分野
1月15日(日)	スタインウェイ”ピアノ”シリーズ vol.8 日本語とうた ～言葉 としての日本語、そして日本 のうた～ 中田喜直と山田耕 作	ピアノ・お話:河原忠之 出演:びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー 栗原未和(ソプラノ)、益田早織(メゾソプラノ)、清水徹太 郎(テノール) 【第1部】中田喜直 大きなたいこ、おかあさん、お月さんとぼうや、かわいい かくれんぼ、こじか、ちいさい秋みつけた、チリンチリンじ てんしゃ、とんとん友だち、ペこの子うしの子、めだかの 学校、もりのよあけ、もんしろ蝶々のゆうびんやさん、タ 方のおかあさん、ゆうらんバス、わらいかわせみに話すな よ、おやすみ、悲しくなったときは、さくら横ちょう、夏の 思い出 【第2部】山田耕作 野薔薇、かやの木山の、鐘がなります、からたちの花、こ の道、待ちぼうけ、六騎、中国地方の子守唄、松島音頭 「風に寄せてうたへる春のうた」 Ⅰ 青き臥床をわれ飾る Ⅱ 君がため織る綾錦 Ⅲ 光に顫 ひ、日に舞へる Ⅳ たたへよ、しらべよ、歌ひつれよ 「雨情民謡集」 Ⅰ 捨てた葱 Ⅱ 紅殻とんぼ Ⅲ 二十三日夜 Ⅳ 波浮の港 Ⅴ 粉屋念仏 <アンコール曲> 山田耕作(ピアノアレンジ/戸田 愛):赤とんぼ～ノスタ ルジア(郷愁) 山田耕作:赤とんぼ 山田耕作:南天の花	281	室内楽・声楽等
2月4日(土)	チャールズ・キム テノール・ リサイタル	出演:チャールズ・キム(テノール)、河原忠之(ピアノ) 曲目: L.v.ベートーヴェン:歌曲集『遥かなる恋人に寄す』 F.リスト:『シューベルトの水車小屋の連作歌曲』より『粉 挽き職人と小川』(ピアノ・ソロ) F.シューベルト:歌曲集『美しき水車小屋の娘』(抜粋) R.シューマン:歌曲集『詩人の恋』 <アンコール曲> ヴォルフ:お別れ	99	室内楽・声楽等
2月19日(日)	大人の楽しみ方33 カンタ オールの世界～フラメンコ音 楽とスペイン語歌曲～	出演: 石塚隆充(カンテ、フラメンコギター)、石塚まみ(ピア ノ)、コモブチキイチロウ(ベース)、大儀見 元(パーカッ ション) 曲目: ロドリゴ:「アランフェス協奏曲」より第2楽章 アダー ジョ ロルカ:「13のスペイン古謡」よりアンダハレオ、18世紀 のセビジャーナス ロルカ:『ジプシー歌集』所収「夢遊病者のロマンス」より ベルデ ファリャ:7つのスペイン民謡 フラメンコの伝統曲(マラゲーニャ) ガルデル:想いの届く日 ヒナステラ:忘却の木の歌 ラミレス:アルフォンシーナと海 フラメンコの伝統曲/石塚隆充オリジナル:タンゴ イ ブレリア <アンコール曲> ララ:グラナダ	284	ジャズ・ワールド ミュージック
合 計 10事業 25公演			6,330	

(エ)その他

びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演を行った。

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)	分 野
9月19日(月・祝)	びわ湖ホール声楽アンサンブル東京公演 vol.13 音楽史の小径～イタリア 古典歌曲から辿る～	【出演】 指揮:本山秀毅 チェンバロ:パブロ・エスカンデ 弦楽:アンサンブルSDG(時本さなえ、磯辺 陽(ヴァイオリン)、上川忠昭(ヴィオラ)、野田祐子(チェロ)、田淵陽介(コントラバス)) 独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル 【曲目】 G.カッチーニ:「麗しのアマリッリ」 C.モンテヴェルディ:「私を死なせて」 J.カリッシミ:「勝利だ、わが心よ」、オラトリオ『イエフテの物語』より「終曲の合唱」 A.チェステイ:「憧れの人の周りに」、「コリンドよ、さようなら」、歌劇『黄金のリンゴ』より「プロローグ」 A.スカルラッティ:「すみれ」、「ガンジスより陽は昇りぬ」、「私は心を感じる」、オペラ『貞節の勝利』より 四重唱、「ミゼレーレ」 D.スカルラッティ:「恋する蝶のように」 G.F.ヘンデル:「緑の木陰で(ラルゴ)」、「私を泣かせてください」、「ああ、私の心よ」、「優しい眼差しよ」	352	室内楽・声楽等
合 計 1事業 1公演			352	

(オ)普及事業

「音楽会へ出かけよう」、「ふれあい音楽教室」および「オペラ講座」など 24事業108公演を行った。

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)
4月23日(土)	～バレエ・オペラ・古典芸能～初心者向け・トライアングル講座 vol.4 バレエ編	会場:びわ湖ホールリハーサル室 講師:青山登志和(元フジテレビ・プロデューサー)	47
4月17日(日)	〈近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2022 関連公演〉 びわ湖ホール声楽アンサンブル “春”をおくるコンサート 高島公演	会場:ガリバーホール 出演:びわ湖ホール声楽アンサンブル、植松さやか 特別出演:高島少年少女合唱団(高島公演)	152
4月23日(土)	〈近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2022 関連公演〉 びわ湖ホール声楽アンサンブル “春”をおくるコンサート 愛荘公演	会場:ハーティーセンター秦荘 出演:びわ湖ホール声楽アンサンブル、植松さやか 特別出演:コーラスしゃぼん玉(愛荘公演)	242
5月7日(土)	ビワコレ 春の音楽会	会場:イオンモール草津	200
5月10日(火)	学校巡回公演	滋賀県立水口東中学校	220
		滋賀県立河瀬中学校	220
5月11日(水)		甲賀市立城山中学校	360
		大津市立葛川小・中学校	20
5月13日(金)		米原市立伊吹小学校	81
		長浜市立小谷小学校	86
5月17日(火)		多賀町立大滝小学校	43
		長浜市立田根小学校	50
5月18日(水)		長浜市立びわ南小学校	180
		長浜市立高時小学校	40
5月22日(日)	室内楽への招待関連企画講座 室内楽の魅力、弦楽四重奏の魅力	会場:びわ湖ホールリハーサル室 お話:河井 拓 ゲスト:大友 肇(チェロ奏者)	74
6月1日(水)	びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう! (「ホールの子」事業)	会場:びわ湖ホール大ホール 指揮:川瀬賢太郎 管弦楽:京都市交響楽団 独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル 脚本・構成:中村敬一 曲目: J.シュトラウスⅡ世:オペレッタ『こうもり』より “夜会は招く” ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 ビゼー:「アルルの女」第2組曲より “ファランドール” フォーレ:組曲「ベレアスとメリザンド」より “シシリエンヌ” ハチャトゥリアン:バレエ音楽「ガイヌ」より “剣の舞” ブッチーニ:オペラ『トゥーランドット』より “誰も寝てはならぬ” すぎやまこういち:交響組曲「ドラゴンクエストI」より “序曲” ムソルグスキー:組曲「展覧会の絵」より “キエフの大門” ヴェルディ:オペラ『椿姫』より “乾杯の歌”	11,103
6月2日(木)			
6月3日(金)			
6月6日(月)			
6月7日(火)			
6月8日(水)		<アンコール曲> J.シュトラウスⅠ世:ラデツキー行進曲	
6月9日(木)	室内楽への招待 関連企画 ダネル弦楽四重奏団によるレクチャーコンサート 「シヨスタコフヴィチの弦楽四重奏曲」	会場:びわ湖ホール小ホール 出演: ダネル弦楽四重奏団(ヴァイオリン:マルク・ダネル、ジル・ミレ、ヴィオラ:ヴラッド・ボグダナス、チェロ:ヨヴァン・マルコヴィッチ)	104
7月1日(金)	沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅧ ～『フィガロの結婚』指揮法～ 最終回	会場:びわ湖ホール大ホール 講師:沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督) 管弦楽:大阪交響楽団 ピアノ:平塚洋子、湯浅加奈子 歌手・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル	550
7月2日(土)		1日目:2台ピアノによる演習 2日目:オーケストラによる演習 3日目:オーケストラによる演習、成果発表会	
7月3日(日)			

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)
7月24日(日)	山崎美奈イタリア声楽曲研修Ⅲ	会場:びわ湖ホール小ホール 講師:山崎美奈 【受講者】 山岸裕梨、脇阪法子、宮城朝陽	344
7月25日(月)		会場:びわ湖ホール小ホール 講師:山崎美奈 【受講者】 山田知加、藤居知佳子、平 欣史	
7月26日(火)		会場:びわ湖ホール小ホール 講師:山崎美奈 【受講者】 坂田日生、宮城朝陽、山田知加、山岸裕梨、脇阪法子	
8月20日(土)	びわ湖ホール夏休み企画 ピアノ解体ショー	会場:びわ湖ホールリハーサル室 お話:土井政人(調律師) ピアノ:宮本遥花	18
			19
			18
8月21日(日)		会場:びわ湖ホールリハーサル室 お話:土井政人(調律師) ピアノ:菅井美貴	13
			17
		12	
8月28日(日)	～バレエ・オペラ・古典芸能～初心者向け・トライア ングル講座 vol.4 オペラ編	会場:びわ湖ホールリハーサル室 講師:青山登志和	64
9月14日(水) ～12月21日(水)	ふれあい音楽教室	9月14日(水)米原市立息長小学校 9月15日(木)湖南市立下田小学校 9月16日(金)東近江市立蒲生北小学校 9月22日(木)大津市立木戸小学校 9月26日(月)米原市立春照小学校 9月27日(火)日野町立日野小学校 9月28日(水)彦根市立城南小学校、長浜市立南郷里小学校 10月4日(火)東近江市立能登川北小学校 10月6日(木)草津市立渋川小学校、東近江市立愛東北小学校 10月7日(金)草津市立草津第二小学校 10月11日(火)彦根市立城東小学校、草津市立南笠東小学校 竜王町立竜王小学校 10月13日(木)草津市立笠縫小学校 10月14日(金)豊郷町立豊郷小学校 10月18日(火)近江八幡市立八幡小学校、草津市立志津南小学校 湖南市立石部南小学校 10月19日(水)彦根市立金城小学校、甲賀市立多羅尾小学校 10月20日(木)竜王町立竜王西小学校、豊郷町立日栄小学校 10月21日(金)日野町立南比都佐小学校、長浜市立びわ南小学校 10月24日(月)栗東市立葉山東小学校 10月25日(火)東近江市立蒲生西小学校、日野町立必佐小学校 10月26日(水)彦根市立稲枝西小学校、長浜市立塩津小学校 10月27日(木)甲賀市立伴谷小学校 10月28日(金)甲賀市立油日小学校 12月21日(水)守山市立河西小学校	2,473
9月24日(土)	アンサンブルの楽しみ ～演奏家のつとめ～ vol.14	会場:びわ湖ホール小ホール 出演: みのかもアルプホルンクラブ【アルプホルンアンサンブル】 クラール・おやこデュオ【ピアノ、ヴァイオリン】 野ばら【女声二部】 MAIYO【ピアノ1台6手連弾】 Elephas maximus【ピアノ、コントラバス】 Y-Wai Trio【ピアノ、フルート、アコーディオン】 アポロン【サクソフォン四重奏】 八坂町カルテット【金管四重奏】 ゴリラ祭ーズ【アコースティックギター、リコーダー、鍵盤ハーモニカ】 M大津アート合奏団(M oz art Ensemble)【弦楽三重奏】 SHIMAMUカルテット【ピアノ四重奏】 ゲストプレーヤー 伊藤達紀(ヴァイオリン) 増山頌子(チェロ) 屋野晴香(ピアノ)	305
9月25日(日)	音楽劇「シンデレラ」のパネルアートワークショップ	会場:びわ湖ホール大ホール ホワイエ 参加対象:小学生以上大学生以下 ★成安造形大学との「共創型インターンシップ」の一環として実施	10

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)
10月8日(土)	北村朋紀×ジョン・ケージ	会場:滋賀県立美術館エントランスロビー 【出演】北村朋紀 【曲目】 ジョン・ケージ:プリバード・ピアノのためのソナタとインターリュード	120
			90
10月8日(土)	～バレエ・オペラ・古典芸能～初心者向け・トライア ングル講座 vol.4 第3回 古典芸能編	会場:びわ湖ホールリハーサル室 講師:青山登志和(元フジテレビ・プロデューサー)	44
10月15日(土) ～12月1日(木)	県内巡回オペラ『泣いた赤おに』	10月15日(土)長浜市立永原小学校	82
		10月28日(金)日野町立南比都佐小学校	83
		10月31日(月)長浜市立伊香具小学校	45
		11月10日(木)守山市民ホール	848
		11月11日(金)米原市立春照小学校	177
		11月15日(火)能登川コミュニティセンター	218
		11月21日(月)甲賀市立大原小学校	195
		11月22日(火)ひこね市文化プラザ	304
		11月25日(金)東近江市立湖東第二小学校	132
		11月29日(火)大津市立上田上小学校	83
		12月1日(木)豊郷町立日栄小学校	121
11月26日(土)	沼尻竜典オペラセレクション『セヴィリヤの理髪 師』プレトーク	会場:びわ湖ホール大ホール 出演:栗國 淳(演出家)	724
11月27日(日)	沼尻竜典オペラセレクション『セヴィリヤの理髪 師』ワークショップ	会場:びわ湖ホール大ホール 出演:栗國 淳(演出家)、幸泉浩司(舞台監督)	77
12月17日(土)	第41回滋賀県ピアノコンクール 予選	会場:草津アマカホール	250
12月18日(日)		全6部門:小学校1・2年、小学校3・4年、小学校5・6年、中学校、高等 学校、学生・一般	250
1月8日(日)	オペラ講座『ニュルンベルクのマイスタージン ガー』(初級編・第1回)	会場:コラボしが21大会議室 講師:東条碩夫(音楽評論家)	135
1月14日(土)	びわ湖ホールプロデュースオペラ ワグナー作 曲『ニュルンベルクのマイスタージンガー』プレト ーク・マチネ	会場:びわ湖ホール中ホール 講師:沼尻竜典(指揮者/びわ湖ホール芸術監督)、岡田暁生(京大大学 人文科学研究所教授) 司会:村島美也子(びわ湖ホールプロデューサー)	200
1月21日(土)	ワグナー・ゼミナール(上級編・第1回)	会場:びわ湖ホールリハーサル室 講師:岡田安樹浩(国立音楽大学講師/音楽学)	107
1月22日(日)	オペラ講座『ニュルンベルクのマイスタージン ガー』(初級編・第2回)	会場:コラボしが21 大会議室 講師:東条碩夫(音楽評論家)	135
2月12日(日)	ワグナー・ゼミナール(上級編・第2回)	会場:びわ湖ホールリハーサル室 講師:伊東史明(ドイツ文学史研究家)	120
2月19日(日)	第41回 滋賀県ピアノコンクール 本選	会場:びわ湖ホール大ホール 対象:滋賀県在住、在学の子童生徒から一般(30歳未満)	300
2月23日(木・祝)	ワグナー・ゼミナール(上級編・第3回)	会場:コラボしが21 大会議室 講師:藤野一夫(芸術文化観光専門職大学副学長/音楽文化論・文化政 策)	120
3月5日(日)	『ニュルンベルクのマイスタージンガー』オペラ・ ワークショップ	会場:びわ湖ホール大ホール 【出演】 栗國 淳(ステージング) 菅原多岐弘(舞台監督)	114
3月11日(土)	湖国新進アーティストによる演奏会 ザ・ファース トリサイタル2023	会場:びわ湖ホール小ホール 【出演】 宮田晴奈(ヴァイオリン)、松本知暁(マリンバ) 山田知加(ソプラノ)	218

実 施 日	事 業 名	事業概要	入場者数 (人)
3月17日(金)	ホスピタルコンサート	会場: 済生会滋賀県病院 【出演】 カトレア サクソフォン カルテット 本田千鈴(S.Sax)、白石尚美(A.Sax)、西川 静(T.Sax)、亀井友恵(B.Sax) 【プログラム】 1 森山直太郎: さくら 2 ニューシネマパラダイス メドレー 3 伊藤康英: 琉球幻想曲 4 高橋宏樹: スプリング・ソングス ～春の童謡メドレー～ ～春よ来い～春が来た～春の小川、どこかで春が～花～早春賦～荒城の月～さくらさくら～茶摘み～ 5 遠藤 実: 北国の春 6 見岳 章: 川の流れるように ≪アンコール≫ 菅野よう子: 花は咲く (予備) 小椋 佳: 愛燦燦	120
3月18日(土)	有料アーカイブ配信 舞台技術研修～人材育成講座～成果発表公演「シンデレラ」(音楽劇)	会場: びわ湖ホール中ホール 【脚本】田辺剛 【演出】まいやゆりこ 【演技指導】高原綾子 【音楽制作】真都山みどり 【振付】山田レイ 【舞台装置アドバイザー】大野知英 【歌唱指導】林隆史(びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー) 【出演】 シンデレラ: 土田千咲 魔法使い: 高山千香葉 王子: 大原輝明 魔法使いの弟子: アッテンバルジェ北田あやめ 継母: 末武みつえ 義理の姉1: 古川萌々花 義理の姉2: 上田僚子 王: 井戸 充	370
合 計 24事業 108公演			22,847

(カ)受託事業

文化庁からの受託事業として、1事業14公演を行った。

実 施 日	事 業 名	会場	入場者数 (人)	分 野
9月2日(金)	文化芸術による子供育成推進事業 びわ湖ホール声楽アンサンブル ワークショップ「ふれあい音楽教室 ～泣いた赤おに～」	京丹後市立久美浜中学校	208	オペラ
9月7日(水)		珠洲市立直小学校	92	
9月14日(水)		富山県立にいかわ総合支援学校	92	
9月15日(木)		富山市立大広田小学校	348	
9月16日(金)		長岡市立富曽亀小学校	267	
9月26日(月)		川北町立川北中学校	247	
9月29日(木)		亀岡市立詳徳小学校	305	
10月11日(火)	文化芸術による子供育成推進事業 びわ湖ホール声楽アンサンブル 本公演 ファンタジックオペラ 『泣いた赤おに』	京丹後市立久美浜中学校	208	オペラ
10月12日(水)		亀岡市立詳徳小学校	305	
10月18日(火)		珠洲市立直小学校	92	
10月20日(木)		富山県立にいかわ総合支援学校	92	
10月21日(金)		川北町立川北中学校	247	
10月25日(火)		富山市立大広田小学校	348	
10月26日(水)		長岡市立富曽亀小学校	267	
合 計 1事業 14公演			3,118	

(キ)共催・協力・後援

他の主催者が行う本県の舞台芸術の振興普及に資する事業について共催等を行った。

区分	事業名(主催者)	開催日等	入場者数(人)
連携	平和堂財団 次世代育成セミナー 「びわ湖ミュージックハーベスト2022」 室内楽演奏会 (公益財団法人平和堂財団)	3月26日(日)	209
	連 携 計	1事業 1公演	209
共催	第2回 近江シンフォニエッタ演奏会 ～解体新書から哲学の道へ～ (一般社団法人近江シンフォニエッタ)	5月15日(日)	635
	TAIRIKプロデュース「古澤 巖の品川カルテット」フリーコンサート (品川の会《(有)アイエフオー》)	6月16日(木) 15:00/19:00 フリーコンサート13:00	119
	TAIRIKプロデュース「古澤 巖の品川カルテット」 (品川の会《(有)アイエフオー》)		243
			70
	ドミンゴ&ゲオルギュー プレミアムコンサート (株式会社コンサート・ドアーズ)	6月23日(木)	1,037
	ハンガリー国立歌劇場来日公演 モーツァルト作曲 歌劇『魔笛』 (株式会社コンサート・ドアーズ)	11月13日(日)	1,161
	平和堂財団 芸術奨励賞受賞者演奏会シリーズ vol.25 ～鳩の音楽会2022～ (公益財団法人平和堂財団)		451
	KEIBUN第九2022演奏会 (株式会社しがぎん経済文化センター)	12月10日(土)	1,247
	びわこのこえフェスティバル vol.3 OPERA GALA CONCERT (びわこのこえ)	12月17日(土)	437
	ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2022 Infinite Love ～輝きの未来へ (びわ湖放送株式会社)	12月24日(土)	1,700
	日本センチュリー交響楽団 びわ湖定期公演 vol.15 (公益財団法人日本センチュリー交響楽団)	12月25日(日)	696
	人形劇団京芸 クリスマスファミリー人形劇「あっちこっちサバンナ」 (有限会社 人形劇団京芸)		412
	子供たちに残したい 美しい日本のうた 春休みコンサート (株式会社テレビマンユニオン、BS朝日)	3月21日(火)	229
	びわこのこえフェスティバル vol.4 松井和彦作曲 落語オペラ『お神酒徳利』 ((びわこのこえ))	3月25日(土) 11:00/14:30	195
			217
	大津児童合唱団 創立70周年記念 第50回定期演奏会 (大津児童合唱団)	3月26日(日)	1,004
	共 催 計	13事業 16公演	9,853
	びわこのこえフェスティバルvol.2 (びわこのこえ)	令和4年6月25日(土) 15:00/18:00	254
			295

協力	第16回シネマ・コンサートの会 in びわ湖ホール オペラ映画『オテロ』上演会 (シネマ・コンサートの会)	令和4年6月17日(金)	136
	「祝祭のヘンデル 躍動する聖と俗」 (川野貴之テノール・リサイタル実行委員会)	令和4年12月25日(日) 14:00/18:00	213
			103
	第17回シネマ・コンサートの会 in びわ湖ホール オペラ映画『道化師』『カヴァレリア・ルスティカーナ』上映会 (シネマ・コンサートの会)	令和4年9月30日(金)	149
	第18回シネマ・コンサートの会 in びわ湖ホール オペラ映画『セビリアの理髪師』上映会 (シネマ・コンサートの会)	令和5年1月20日(金)	113
	令和3年度文化庁芸術祭新人賞 受賞記念 熊谷綾乃 ソプラノ・リサイタル	令和5年3月29日(水)	100
協 力 計		6事業 8公演	1,363
合 計		20事業 25公演	11,216

(ク)有料配信(再掲)

オペラ、オーケストラ、室内楽・声楽等6事業7公演について有料配信を行った。

実施日	事業名	事業概要	視聴者数 (販売数)	分野
7月17日(日)	有料ライブ配信	指揮:園田隆一郎 演出・お話:田口道子 管弦楽:大阪交響楽団	73	オペラ
	有料アーカイブ配	【キャスト】びわ湖ホール声楽アンサンブルほか ファルスタッフ:平 欣史(15, 17)、青山 貴**(16,18) フォード:市川敏雅(全日) フェントン:清水徹太郎*(15,17,18)、有本康人(16) カイウス:宮城朝陽(15,17)、古屋彰久*(16,18) バルドルフォ:谷口耕平(15,17)、奥本凱哉(16,18) ピストーラ:林 隆史*(全日) アリーチェ:山田知加(15)、山岸裕梨(16,17,18) ナンネッタ:脇阪法子(15,17)、熊谷綾乃(16,18) クイックリー夫人:中島郁子*(15,16,17)、藤居知佳子(18) メグ・ペイジ:阿部奈緒(15,17)、坂田日生(16,18) *...びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー **...客演		
7月18日(月・祝)	オペラへの招待 ヴェルディ作曲 歌劇『ファルスタッフ』(全三幕、イタリア語上演/日本語字幕)		73	オペラ
9月10日(土)	有料ライブ配信	指揮:本山秀毅 チェンバロ:パブロ・エスカンデ 弦楽:アンサンブルSDG(時本さなえ、磯辺 陽(ヴァイオリン)、上川忠昭(ヴィオラ)、野田祐子(チェロ)、田淵陽介(コントラバス)) 独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル	40	室内楽・声楽等
	有料アーカイブ配	【曲目】 G.カッチーニ:「麗しのアマリツリ」 C.モンテヴェルディ:「私を死なせて」 J.カリッシミ:「勝利だ、わが心よ」、オラトリオ『イエフテの物語』より「終曲の合唱」 A.チェスティ:「憧れの人の周りに」、「コリンドよ、さようなら」、歌劇『黄金のリンゴ』より「プロローグ」 A.スカルラッティ:「すみれ」、「ガンジスより陽は昇りぬ」、「私は心に感じる」、オペラ『貞節の勝利』より 四重唱、「ミゼレーレ」 D.スカルラッティ:「恋する蝶のように」 G.F.ヘンデル:「緑の木陰で(ラルゴ)」、「私を泣かせてください」、「ああ、私の心よ」、「優しい眼差しよ」		
11月19日(土)	有料ライブ配信	指揮:大川修司 ピアノ:越知晴子 舞台構成・字幕:中村敬一	36	室内楽・声楽等
	有料アーカイブ配	プッチーニ:歌劇『ラ・ボエーム』より 「冷たい手を〜私の名はミミ〜ああ、かわいいお嬢さん」 山岸裕梨(ミミ)、宮城朝陽(ロドルフォ)、平 欣史(マルチェッロ)、市川敏雅(シヨナール)、美代開太(コッリーネ) 「私が街を歩けば」 脇阪法子(ムゼッタ) 「さよなら、愛の夢よ」 山岸裕梨(ミミ)、奥本凱哉(ロドルフォ)、平 欣史(マルチェッロ)、脇阪法子(ムゼッタ) プッチーニ:歌劇『蝶々夫人』より 「ある晴れた日に」「花の二重唱」 山田知加(蝶々夫人)、藤居知佳子(スズキ) プッチーニ:歌劇『ジャンニ・スキッキ』(演奏会形式/イタリア語上演・日本語字幕付) 市川敏雅(ジャンニ・スキッキ)、山岸裕梨(ラウレッタ)、阿部奈緒(ツィータ)、有本康人(リヌッチョ)、谷口耕平(ゲラルド)、熊谷綾乃(ネッラ)、美代開太(バット・ディ・シーニャ)、松森 治*(シモーネ)、平 欣史(マルコ)、坂田日生(チェスカ)、宮城朝陽(スピネロッツォ先生、ピネツリーノ)、奥本凱哉(アマンティオ・ディ・ニコラオ)、藤居知佳子(グッチョ)、脇阪法子(ゲラルディーノ) *...びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー		

実 施 日	事 業 名	事業概要	視聴者数 (販売数)	分 野
12月3日(日)	有料ライブ配信 美しい日本の歌	指揮:本山秀毅 管弦楽:京都フィルハーモニー室内合奏団 司会:竹内直紀 出演:びわ湖ホール声楽アンサンブル [曲目] ◆琵琶湖周航の歌 ◆この道 ◆青い山脈 ◆日本の四季 春:荒城の月 夏:夏の思い出 秋:ちいさい秋みつけた 冬:雪の降るまちを ◆翼をください ◆昭和・平成のヒット曲 宇宙戦艦ヤマト、異邦人 -シルクロードのテーマ- 昴、TRUE LOVE、糸、2億4千万の瞳-エキゾチック・ジャパ ン 魅せられて、大空と大地の中で、手紙～拝啓 十五の君へ～ 世界に一つだけの花 <アンコール曲> 明日があるさ	17	室内楽・声楽等
12月31日(日)	有料ライブ配信 有料アーカイブ配 びわ湖ホールジルヴェ スター・コンサート 2022	指揮:沼尻竜典(びわ湖ホール芸術監督) 打楽器:ルガーノ・パーカッション・アンサンブル 司会:桂 米團治 管弦楽:大阪交響楽団 独唱・合唱:びわ湖ホール声楽アンサンブル 合唱:ジルヴェスター合唱団(一般参加) ファンファーレ:ジルヴェスター・ファンファーレ隊(一般参加) 構成・台本:中村敬一 [プログラム] J.シュトラウスⅡ世:オペレッタ『こうもり』序曲 M.シュタイナウアー:ソット・アクア(水の中) 打楽器:ルガーノ・パーカッション・アンサンブル R.シュトラウス:『ばらの騎士』組曲 J.ヴァンデルロースト:Yokohama Festival Fanfare C.オルフ:「カルミナ・ブラーナ」(全曲) ソプラノ:熊谷綾乃、テノール:清水徹太郎、バリトン:市川敏雅 J.シュトラウスⅡ世:ポルカ「雷鳴と電光」 指揮:桂 米團治 <アンコール曲> J.シュトラウスⅠ世:ラデツキー行進曲	77	オーケストラ
3月18日(土)	有料アーカイブ配 舞台技術研修～人材育 成講座～成果発表公演 「シンデレラ」(音楽劇)	【出演】 シンデレラ:土田千咲 魔法使い:高山千香葉 王子:大原輝明 魔法使いの弟子:アッテンバルジェ北田あやめ 継母:末武みつえ 義理の姉1:古川萌々花 義理の姉2:上田僚子 王:井戸 充	16	演劇
合 計 6事業 7公演			332	

(ケ)無料配信

びわ湖ホールYouTubeチャンネルにて、「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」の前日祭の公演を配信した。

実 施 日	事 業 名	事業概要	再生回数
ライブ配信 4月29日(金・祝) アーカイブ配信 4月30日(土) ～5月1日(日)	近江の春 びわ湖クラ シック音楽祭	「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」の前日祭で公演した「素晴らしき日本の歌」 (ライブ配信・アーカイブ配信)	2,271

(コ)新規事業

実施日	事業名	事業概要	実施場所	件数等
8月20日(土)、 21日(日)	ピアノ解体ショー	子どもたちにピアノの構造を知ってもらい、音楽や楽器に興味を持ってもらうことを目的に、夏休み子ども向け企画として「ピアノ解体ショー」を実施。調律師がピアノを解体して、実際の構造を見ながら音が出る仕組みを説明するとともに、県内ピアニストによる演奏により、ピアノの魅力を体感してもらった。	リハーサル室	入場者数 97人

ウ 令和5年度以降自主事業準備

令和5年度以降の自主事業を円滑に実施するため調査交渉を進めるとともに、令和5年度に開催する自主事業公演の事前準備を行った。

なお、「びわ湖の春 音楽祭2023」の開催に向けて、早期に集客を図るため、特設のウェブサイト을立ち上げ積極的な情報発信を行った。

エ 専属声楽アンサンブル運営

びわ湖ホールの創造活動の核として、「オペラへの招待」シリーズのソリストや「プロデュースオペラ」の合唱を担うとともに、定期公演をはじめ、各種自主事業に出演した。

また、県や県教育委員会等との連携による「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」（ホールの子事業）、小学校等の体育館でコンサートを行う「学校巡回公演」、小学校の授業に声楽アンサンブルの団員とピアニストが参加し、歌唱指導等を行う「ふれあい音楽教室」を実施し、人生の早い段階で本物の舞台芸術に触れる機会の提供に努めた。

併せて、文化庁の「文化芸術による子供育成推進事業」を受託し、県外（新潟県、富山県、石川県、京都府）の7小中学校で、オペラ『泣いた赤おに』を上演するとともに、県教育委員会との共催により県内の小学校を対象とした巡回公演を行った。

依頼公演は、「美しい日本の歌」札幌公演、NHKニューイヤーオペラコンサート等に出演したほか、『森は生きている』兵庫公演等、各地の公演依頼に積極的に応じた。

(ア) びわ湖ホール声楽アンサンブル団員数（定員16人）

ソプラノ：4人、アルト：3人、テノール：4人、バス：3人 計：14人

※令和4年度は、アルト1人、バス1人欠員

(イ) びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー計71人（令和5年4月現在）

(ウ) 声楽アンサンブル公演事業

区 分	事 業 名 （ 開 催 日 ）
自主公演 （再掲）	○自主公演：22公演 ・近江の春 びわ湖クラシック音楽祭 2022 前日祭「素晴らしき日本の歌」（4月29日（金）） オペラ合唱名曲選（5月1日（土）） ・オペラへの招待 ヴェルディ作曲 歌劇『ファルスタッフ』 （7月15日（金）、16日（土）、17日（日）、18日（月・祝）） ・第75回定期公演 音楽史の小径～イタリア古典歌曲から辿る～ （9月10日（土）） ・東京公演 vol.13 音楽史の小径～イタリア古典歌曲から辿る～ （9月19日（月・祝）） ・気軽にクラシック 31 津國直樹 ドイツ歌曲 名曲の愉しみ（11月3日（木・祝）） ・第76回定期公演 プッチーニ作曲 歌劇『ジャンニ・スキッキ』 （11月19日（土）） ・びわ湖ホール声楽アンサンブル 美しい日本の歌（12月3日（日）） 米原公演（8月7日（日）） ・びわ湖ホール ジルヴェスター・コンサート 2022（12月31日（日）） ・スタインウェイ“ピノ”シリーズ vol.8 日本語とうた ～言葉としての日本語、そして日本のうた～ 中田喜直と山田耕柞（1月15日（日）） ・気軽にクラシック 33 船越亜弥 今届けたい歌（1月22日（日）） ・オペラへの招待 林光作曲 オペラ『森は生きている』 （1月26日（木）、27日（金）、28日（土）、29日（日）） ・びわ湖ホールプロデュースオペラ ワーグナー作曲『ニュルンベルクのマイスタージンガー』（3月2日（木）、5日（日）） ・帰ってきた びわ湖ホール四大テノール（3月12日（日））

普及事業 (再掲)	○普及事業：78 公演 ・「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」サテライト公演〔2 公演〕 びわ湖ホール声楽アンサンブル “春” をおくるコンサート 4 月 24 日（日）ガリバーホール（高島市） 4 月 25 日（月）ハーティーセンター秦荘（愛荘町） ・「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」関連公演 ビワコレ春の音楽会〔2 公演〕 5 月 7 日（土）イオンモール草津 ・学校巡回公演〔10 公演〕 5 月 10 日（火）滋賀県立水口東中学校、滋賀県立河瀬中学校 5 月 11 日（水）甲賀市立城山中学校、大津市立葛川小・中学校 5 月 13 日（金）米原市立伊吹小学校、長浜市立小谷小学校 5 月 17 日（火）多賀町立大滝小学校、長浜市立田根小学校 5 月 18 日（水）長浜市立びわ南小学校、長浜市立高時小学校 ・びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！（「ホールの子」事業）〔12 公演〕 6 月 1 日（水）・2 日（木）・3 日（金）・6 日（月）・7 日（火）・8 日（水） ・沼尻竜典オペラ指揮者セミナーⅧ『フィガロの結婚』指揮法〔3 公演〕 7 月 1 日（金）・2 日（土）・3 日（日） ・山崎美奈 イタリア声楽曲研修Ⅲ〔3 公演〕 7 月 24 日（日）・25 日（月）・26 日（火） ・ふれあい音楽教室〔34 公演〕 9 月 14 日（水）米原市立息長小学校 9 月 15 日（木）湖南市立下田小学校 9 月 16 日（金）東近江市立蒲生北小学校 9 月 22 日（木）大津市立木戸小学校 9 月 26 日（月）米原市立春照小学校 9 月 27 日（火）日野町立日野小学校 9 月 28 日（水）彦根市立城南小学校、長浜市立南郷里小学校 10 月 4 日（火）東近江市立能登川北小学校 10 月 6 日（木）草津市立洪川小学校、東近江市立愛東北小学校 10 月 7 日（金）草津市立草津第二小学校 10 月 11 日（火）彦根市立城東小学校、草津市立南笠東小学校 竜王町立竜王小学校 10 月 13 日（木）草津市立笠縫小学校 10 月 14 日（金）豊郷町立豊郷小学校 10 月 18 日（火）近江八幡市立八幡小学校、草津市立志津南小学校 湖南市立石部南小学校 10 月 19 日（水）彦根市立金城小学校、甲賀市立多羅尾小学校 10 月 20 日（木）竜王町立竜王西小学校、豊郷町立日栄小学校 10 月 21 日（金）日野町立南比都佐小学校、長浜市立びわ南小学校 10 月 24 日（月）栗東市立葉山東小学校 10 月 25 日（火）東近江市立蒲生西小学校、日野町立必佐小学校 10 月 26 日（水）彦根市立稲枝西小学校、長浜市立塩津小学校 10 月 27 日（木）甲賀市立伴谷小学校 10 月 28 日（金）甲賀市立油日小学校 12 月 21 日（水）守山市立河西小学校
----------------------	--

受託事業 (再掲)	・ 県内巡回オペラ『泣いた赤おに』〔12 公演〕 10 月 15 日 (土) 長浜市立永原小学校 10 月 28 日 (金) 日野町立南比都佐小学校 10 月 31 日 (月) 長浜市立伊香具小学校 11 月 10 日 (木) 守山市民ホール (2 公演) 11 月 11 日 (金) 米原市立春照小学校 11 月 15 日 (火) 能登川コミュニティセンター 11 月 21 日 (月) 甲賀市立大原小学校 11 月 22 日 (火) ひこね市文化プラザ 11 月 25 日 (金) 東近江市立湖東第二小学校 11 月 29 日 (火) 大津市立上田上小学校 12 月 1 日 (木) 豊郷町立日栄小学校
	○受託事業：14 公演 ・ 令和 4 年度 文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－ワークショップ〔7 公演〕 9 月 2 日 (金) 京丹後市立久美浜中学校 9 月 7 日 (水) 珠洲市立直小学校 9 月 14 日 (水) 富山県立にいかわ総合支援学校 9 月 15 日 (木) 富山市立大広田小学校 9 月 16 日 (金) 長岡市立富曽亀小学校 9 月 26 日 (月) 川北町立川北中学校 9 月 28 日 (木) 亀岡市立詳徳小学校 ・ 令和 4 年度 文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－びわ湖ホール声楽アンサンブル ファンタジックオペラ『泣いた赤おに』〔7 公演〕 10 月 11 日 (火) 京丹後市立久美浜中学校 10 月 12 日 (水) 亀岡市立詳徳小学校 10 月 18 日 (火) 珠洲市立直小学校 10 月 20 日 (木) 富山県立にいかわ総合支援学校 10 月 21 日 (金) 川北町立川北中学校 10 月 25 日 (火) 富山市立大広田小学校 10 月 26 日 (水) 長岡市立富曽亀小学校
依頼公演	○依頼公演：41 公演 ・ 株式会社大兼工務店創立100周年記念事業 (4 月 17 日 (日) 能登川コミュニティセンター) ・ ルシオール アート キッズ フェスティバル (5 月 22 日 (日) 守山市民ホール、立命館メディアホール) 〔2 公演〕 ・ 全国植樹祭 (6 月 5 日 (日) 鹿深の森) ・ 「うたつたえ」コンサート (6 月 26 日 (日) 高島市民会館) ・ ビワコレ夏の音楽会 (7 月 2 日 (土) イオンモール草津) 〔2 公演〕 ・ 滋賀県退職女性校長会 (滋賀県梅の実会) 創立20周年記念大会 (7 月 9 日 (土) びわ湖ホール小ホール) ・ 能登川地区老人クラブ連合会 結成60周年記念老人クラブ大会 (7 月 16 日 (土) 能登川コミュニティセンター)

	・びわ湖ホール声楽アンサンブル 美しい日本の歌 札幌公演（8月13日（土）札幌コンサートホールKitara） ・社歌録音 甲賀高分子株式会社（8月21日（日）びわ湖ホール小ホール） ・第52回滋賀県芸術文化祭開催記念イベント 0歳児からのコンサート（8月27日（土）栗東市芸術文化会館さくら） ・BS朝日「子供たちに残したい 美しい日本の歌」（9月20日（火）びわ湖ホールメインロビー） ・第49回京津奈三商工会議所建設関係部会合同懇談会（9月22日（木）びわ湖ホール小ホール） ・長浜市・ヴェローナ姉妹都市提携30周年記念公演 ベッリーニ作曲：オペラ『ロメオとジュリエット』（9月25日（日）浅井市文化ホール） ・2022 グランドオペラプロジェクト in Japan 関西二期会『ドン・ジョヴァンニ』鹿児島公演（9月30日（金）宝山ホール） ・交遊館まちなかコンサート（10月1日（土）きのもと交遊館） ・ビワコレ秋の音楽会（11月4日（金）イオンモール草津）〔2公演〕 ・大阪交響楽団「0さいからのコンサート！！」（11月6日（日）城東スギタクレストホール） ・大津高等学校創立70周年事業記念式典（11月12日（土）びわ湖ホール大ホール） ・近江ゆかりの会特別昼食会／しが体感フェスタ！（11月20日（火）東京ガーデンテラス紀尾井町）〔2公演〕 ・第32回近畿弁護士連合会人権擁護大会（11月25日（金）琵琶湖ホテル） ・ルシオールAKF秋色「0歳からのコンサート」（11月27日（日）守山市民ホール） ・第27回ルシオール音楽塾 歌劇『イル・トロヴァトーレ』（12月4日（日）守山市民ホール） ・KEIBUN第九演奏会（12月10日（土）びわ湖ホール大ホール） ・第65回NHKニューイヤーオペラコンサート（1月3日（火）NHKホール） ・ニューイヤーディナーショー（1月3日（火）びわ湖大津プリンスホテル） ・大津市20歳のつどい（1月9日（月）びわ湖ホール大ホール） ・プレミアムGI 第4回ボートレースバトルチャンピオントーナメント 開会セレモニー（1月12日（木）びわ湖ボートレース場） ・2022 グランドオペラプロジェクト in Japan 関西二期会『ドン・ジョヴァンニ』東京公演（1月15日（日）新宿文化センター） ・滋賀県経済同友会新春懇談例会（1月31日（火）びわ湖大津プリンスホテル） ・ビワコレ冬の音楽会（2月24日（金）イオンモール草津）〔2公演〕 ・文化・経済フォーラム 第13回総会（2月25日（土）びわ湖ホール小ホール） ・中岡研二氏旭日小綬章受章祝賀会（3月19日（日）琵琶湖ホテル） ・子供たちに残したい 美しい日本の歌 春休みコンサート（3月21日（火・祝）びわ湖ホール中ホール） ・"日本オペラプロジェクト2023 オペラ「森は生きている」（3月25日（土）・26日（日）兵庫県立芸術文化センター）〔2公演〕 ・滋賀県職員退職者記念の集い（3月31日（金）琵琶湖ホテル）
--	---

オ ネットワークの形成

滋賀県の公立文化施設協議会の会長館として館長会議を2回開催したほか、びわ湖舞台芸術スタッフセミナーとしてアートマネジメント研修などを実施し、県内公立文化施設のネットワーク形成と職員の能力向上に努めた。

(2) 広報営業

びわ湖ホールからの情報発信とチケットの販売促進を図るため、パブリシティ活動、インターネットなどによる幅広い広報活動、情報誌の発行、新聞・雑誌・電波・SNS等による広告のほか、協賛支援やスポンサーの確保、施設利用についての営業活動を行った。

地域創造部や文化産業交流会館を一体的にとらえた情報提供を行い、顧客がお得感を得やすいよう工夫するとともに、広報媒体や営業の機会を相互に有効活用するなど、財団全体にとってのメリットも最大限活用するよう努めた。

また、地元企業等の協力も得て、鉄道駅構内や企業店頭のパンフレットラックに公演チラシを設置するなど、幅広い層への広報活動を行った。

ア 広報営業

(ア) パブリシティ活動

各自主事業公演についてプレスリリースを随時行うとともに、制作発表やアーティストを招いての記者懇談会を実施し、県内、関西圏、東京方面の報道機関等へPR活動を行った。

新聞記事、専門誌、電波媒体等掲載件数 (Webを含む)	
自主事業公演の事前紹介	173件 (寄稿を含む)
自主事業公演の事後評	49件
その他	38件

(イ) 広報活動

公式ウェブサイトやSNSを通じて、公演等の最新情報を発信した。新聞5紙(滋賀版)に公演情報やホールでの取組を毎週(滋賀報知は月1回、中日新聞は隔週)寄稿した。新聞記事掲載を滋賀版だけでなく、朝日・毎日・読売・日経各大阪本社、名古屋本社など範囲を拡大した。NHKなど県外のテレビニュースやラジオ等でも取り上げられるよう注力(記事・ニュース計62件)するなど、丁寧な情報提供を行い、積極的な広報に努めた。

(ウ) 舞台芸術情報誌「湖響」の発行

びわ湖ホールおよび財団全体として自主事業をPRするとともに、舞台芸術への理解を広げるため舞台芸術情報誌「湖響」を発行し、びわ湖ホール友の会会員、びわ湖ホール劇場サポーター、全国の文化施設、県内市町文化行政担当部局、全国の報道機関等に配布した。

(年4回発行 各11,000部)

(エ) 公演チケット情報「Stage」の発行

チケット発売情報や公演情報を月1回まとめてPRする公演チケット情報「Stage」を発行し、上記(ウ)配布先の他、一般来客、営業活動など多方面に配布した。

(毎月発行 各17,000部)

(オ) 年間公演プログラムの作成

年間の自主事業公演をPRするためプログラムを作成し、友の会会員、劇場サポーター、全国の文化施設、県内市町文化行政担当部局、全国の報道機関等に配布した。

(年1回発行 35,000部)

イ チケット販売

文化団体、職域団体等の組織販売に努めるとともに、大型公演にはSS席を適切に配置して特別感を醸成するなど、チケットの効果的な販売活動を行った。また、若年層向けに、ほぼすべての公演に青少年料金(25歳未満)を設定し、U30席(30歳以下)・U24席(24歳以下)、シアターメイツ対象公演を設けるなど顧客の拡大に努めた。

また、チケットシステムを全面更新し、インターネット、スマートフォンでのチケットの予約購入、クレジット決済、コンビニエンスストアでのチケット受け取りなど利便性を高め、チケットの販売促進に努めた。

U30席・U24席対象事業	2事業
販売枚数(U30席)	107枚

販売枚数（U24席）	104枚
青少年料金販売枚数	1876枚（子ども、シアターメイツ含む）
青少年割引当日券（3事業）	10枚
インターネットでの購入率	38%

ウ びわ湖ホールオフィシャルスポンサー

特定の自主事業に対する協賛、あるいは年間を通じた自主事業全体への協賛をいただく「びわ湖ホールオフィシャルスポンサー」に応募いただくよう働きかけを行った。年間スポンサーから事業運営にご支援いただくとともに、各スポンサー企業の広告枠をびわ湖ホールウェブサイトや情報誌に掲載するなど、劇場を広告・宣伝の媒体としてご活用いただいた。

[年間スポンサー]

株式会社 叶匠寿庵（平成25年8月～ ）

株式会社 平和堂（平成27年2月～ ）

株式会社 木の家専門店 谷口工務店（平成31年3月～ ）

エ 友の会運営

びわ湖ホール顧客の拡大・定着を図りチケット販売等の営業活動を促進するため、友の会一般会員、サポート会員、特別会員を募集し、情報の提供とチケットの優先販売を行った。特に、特別会員募集については、寄付者、サポート会員、一般会員、劇場サポーター、チケット購入者に対して個別に営業を行った。サポート会員募集については、募集パンフレットを公演時に配布するなどの営業を行った。

また、クレジットカード会社との業務提携の解約に伴うクレジット一般会員の制度廃止に向けての周知とあわせて、一般会員への切り替え案内をするとともに、特別会員やサポート会員の利便性やメリットを知っていただく機会とした。

会 員 数：一般会員	2, 787人	(クレジット会員 788人、非クレジット会員1,999人)
	[2, 925人	(クレジット会員1,086人、非クレジット会員1,839人)]
サポート会員	428者458口	[370者393口]
特別会員	149者179口	[138者166口]
	[]は前年度末実績	

オ 観客創造

(ア) 劇場サポーター

ひとのネットワークによる観客創造を目的に、第1期から第27期までの劇場サポーター(132名)の研修・講座を行うとともにサポーター活動を通じ、舞台芸術の普及に努めた。劇場サポーター自身が講座の講師を務めるなど、「舞台芸術愛好の輪」は確実に拡がりを見せている。

a 劇場サポーター基礎講座等

事業名	開 催 日	内 容
オリエンテーション	令和4年4月10日(日)	オリエンテーション
第1回基礎講座	令和4年8月21日(日)	オペラの舞台監督 講師：牧野 優（滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 舞台監督）
第1回特別講座	令和4年4月24日(日)	僕が指揮者を志したきっかけと、まさかの25年間に及ぶ歌劇場生活 講師：阪 哲朗 （びわ湖ホール芸術参与、山形交響楽団常任指揮者）
第2回特別講座	令和4年9月11日(日)	再現芸術としてのオペラ 講師：河原 廣之 （大阪音楽大学大学院講師、オペラ読本出版編集長、オペラ台本翻訳家、字幕作家）

第3回 特別 講座	令和5年2月23日(木・祝)	狂言とかのおはなし 講師：茂山千之丞（大蔵流狂言方）
公 演 関 連 講 座 研 修	オペラ講座『ニュルンベルクのマイスタージンガー』（初級編・全2回） ワーグナー・ゼミナール（上級編・全3回）	
	令和4年5月22日(日)	室内楽への招待関連企画講座「室内楽の魅力、弦楽四重奏の魅力」 お話：河井 拓、ゲスト：後藤彩子（ヴィオラ奏者）
オペラ 見学会	令和4年7月10日(日)	オペラへの招待『ファルスタッフ』稽古（KHP）見学会
	令和5年1月21日(土)	オペラへの招待『森は生きている』稽古（KHP）見学会
アウト リーチ 見学会	令和4年10月10日（月・祝）	ふれあい音楽教室 in 米原 出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル （熊谷綾乃、脇阪法子、阿部奈緒）、大村 夢(ピアノ)

b 自主活動

劇場サポーターによる自主的な活動としてサポーター通信の発行や各部会による自主的学習会等が開催された。

- ・サポーター通信“Harmonia” 2回発行（自己紹介号を含む）
- ・交流会・学習会など7回開催（定例会5回、サポーターズサロン4回）

(イ) シアターメイツ

青少年の舞台芸術への関心を高めるため、シアターメイツ会員（6歳以上18歳以下の青少年等）を募集した。シアターメイツ通信を5回発行し、優待公演等を案内した。また、びわ湖ホールで開催する青少年向けのイベント等を紹介した。シアターメイツ限定イベントとして、冬休み期間中に「ジルヴェスター・コンサート2022」のリハーサル見学会を実施した。

会員数：876人（令和5年3月末現在）

(ウ) 舞台芸術情報サロン

誰もが気軽に舞台芸術に関する情報に触れられるよう、舞台芸術情報サロンを運営し、各種サービスの提供を行うとともに絵はがきやクリアフォルダー、また『神々の黄昏』Blu-ray Disc、『つばめ』ノート・クリアファイルなどのびわ湖ホールのオリジナルグッズなどを販売した。

- 公演情報の提供（びわ湖ホール公演および県内外の公演等）
- 舞台芸術資料の収集および閲覧、視聴サービス
 - ・音楽専門誌、演劇専門誌、舞台芸術情報誌等の月刊誌、週刊誌等 20種
 - ・舞台芸術関係書籍 1,626冊
 - ・LD、VHS、DVD、CD 784点

(エ) 館内見学ツアー

一般の見学者を対象に、館内見学ツアーを実施した。

- ・まるっとステージツアー 実施回数：4回 参加者数：112人

友の会、劇場サポーター、シアターメイツの状況

区 分		人 数 等				
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
友の会	一般会員	3, 1 7 4 人	3, 3 4 2 人	2, 8 4 9 人	2, 9 2 5 人	2, 7 8 7 人
	特別会員	1 1 9 者 1 4 7 口	1 1 9 者 1 4 5 口	1 2 8 者 1 5 5 口	1 3 8 者 1 6 6 口	1 4 9 者 1 7 9 口
	サポート会員	3 0 8 者 3 2 6 口	3 5 5 者 3 7 3 口	3 3 7 者 3 5 7 口	3 7 0 者 3 9 3 口	4 2 8 者 4 5 8 口
劇場サポーター		1 1 2 人 (1～23 期)	1 1 4 人 (1～24 期)	1 2 2 人 (1～25 期)	1 3 6 人 (1～26 期)	1 3 2 人 (1～27 期)
		基礎講座 2 回 特別講座 2 回	基礎講座 2 回 特別講座 2 回	特別講座 1 回	基礎講座 2 回 特別講座 2 回	基礎講座 1 回 特別講座 3 回
シアターメイツ		1, 4 3 2 人	1, 3 1 7 人	1, 1 2 2 人	9 4 4 人	8 7 6 人

(3) 施設利用事業

利用者の立場に立ったきめ細やかな対応を徹底し、リピーターの確保を含め施設利用の促進に努めた。また、照明および音響改修工事により、令和元年度に続いて大・中ホールを長期間利用停止し（7月19日から11月8日）、小ホールも8月に1か月間利用停止したが、過去の施設利用者を中心に広く周知し、利用調整を図ることにより、影響が最小限になるよう努めた。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、引き続き基本的な感染予防対策を徹底しつつ、国および県の方針に基づいて一部規制の解除等に対応した。

ア 施設利用の状況

区 分		公 演 数、入 場 者 数				
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
大 ホール		79 公演 102,676 人	36 公演 45,996 人	20 公演 12,884 人	53 公演 43,000 人	37 公演 43,067 人
中 ホール		42 公演 23,581 人	24 公演 12,340 人	21 公演 4,802 人	26 公演 8,413 人	28 公演 10,493 人
小 ホール		107 公演 14,494 人	98 公演 14,567 人	54 公演 4,426 人	90 公演 12,042 人	92 公演 12,352 人
合 計		228 公演 140,751 人	158 公演 72,903 人	95 公演 22,112 人	169 公演 63,455 人	157 公演 65,912 人
内 訳	舞台芸術公演	200 公演 121,616 人	140 公演 61,544 人	73 公演 17,340 人	150 公演 57,135 人	130 公演 51,821 人
	大会・講演会等	28 公演 19,135 人	18 公演 11,359 人	22 公演 4,772 人	19 公演 6,320 人	27 公演 14,091 人

(注)件数は、公演および大会の本番の回数。

イ ホール等の稼働状況

区 分	稼 働 日 数 (日)			稼 働 率 (%)
	自主事業	貸 館	計	
大 ホ ー ル	1 3 7	3 9	1 7 6	9 1 (9 0)
中 ホ ー ル	1 3 7	3 4	1 7 1	8 7 (8 1)
小 ホ ー ル	1 0 7	9 5	2 0 2	7 3 (7 2)
ホ ー ル 計	3 8 1	1 6 8	5 4 9	8 2 (8 1)
リハーサル室	2 4 1	1 0	2 5 1	8 4 (7 9)
練 習 室 1	2 5 6	2 8	2 8 4	9 4 (9 0)
練 習 室 2	2 1 0	4 2	2 5 2	8 3 (8 3)
練 習 室 3	2 3 9	1 6	2 5 5	8 4 (7 7)
研 修 室	1 2 7	1 0	1 3 7	4 5 (4 6)
合 計	1, 4 5 4	2 7 4	1, 7 2 8	7 9 (7 7)

(注) 稼働率は、休館日(年間59日)のほか保守点検等の日数を除く使用可能日をもとに算出。
() は前年度実績。

ウ 稼働率の推移

区 分	稼 働 率 (%)				
	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
大 ホ ー ル	9 0	8 4	9 4	9 0	9 1
中 ホ ー ル	8 8	7 8	8 7	8 1	8 7
小 ホ ー ル	7 7	6 9	6 5	7 2	7 3
ホ ー ル 計	8 5	7 6	8 2	8 1	8 2
リハーサル室	8 3	7 7	8 7	7 9	8 4
練 習 室	7 0	7 1	8 1	8 4	8 7
研 修 室	6 1	5 4	5 0	4 6	4 5

(4) 管理運営

施設の適正な管理を行うことで、施設の日々の安全な運用ができ、長寿命化にも資するとともに、びわ湖ホールとしての質の高いサービス提供継続への貢献を行った。また、施設が老朽化する中で、利用者ニーズに合わせた効果的な改修ができるように県に要望し、安全・安心な施設管理に努めた。

新型コロナウイルスワクチン職域接種会場(Oh!Me)の指定駐車場となり、駐車場利用収入の増につながった。大ホール上手袖舞台スプリングラー誤作動に伴う電磁弁交換、屋上雨水配管の詰まり、ひび割れによりメインロビー中央部天井で生じた雨漏れに係る緊急補修をはじめ、駐車場熱感知器の動作不良に伴う交換、駐車場高压引込みケーブルの絶縁劣化に伴う更新、店舗(アミティ)・大ホールピアノ庫・中央監視室などの空調機器不調による更新等工事を行った。

ア ホール管理運営

施設の維持管理を適正に行うとともに、公演開催に伴うチケット販売業務、総合案内業務、舞台技術業務およびレセプション業務等について、びわ湖ホールにふさわしい質の高いサービスを提供した。

あわせて、災害時の緊急対応について、「滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールおよびびわ湖ホール駐車場 災害時の緊急対応要領」をホール職員に徹底するとともに、非常時の対応に生かすため消防訓練を実施した。

また、日常の施設・設備管理で危険個所が発見された場合に、速やかな改修に努めた。

イ 舞台技術運営

(ア) 舞台設備および備品管理運営

舞台設備の日常点検・管理を適正に行うとともに、施設利用者に使いやすい環境を提供した。コロナ禍に新たに実施した配信事業を継続するなど、利用者が気軽に配信に取り組める環境を提供した。

大規模改修以外の緊急対応修繕として、県からの受託により、大ホール照明設備更新を行った。

(イ) 技術的専門性の向上

びわ湖ホールの機能を活用し、創造性を発揮した舞台技術が提供できるよう努めた。

また、創造型劇場の26施設が会員となっている「公共劇場舞台技術者連絡会」の事務局として参加し、専門部会で舞台技術についての講習など、劇場との情報交換や調査研究を通して、技術的専門性の向上を行った。

(ウ) 人材育成

職員の資質の向上を図るため平成26年から9年間続けている事業として、近隣の舞台技術・美術系大学等との連携を図りながら舞台技術者の人材育成に努めた。具体的には、成安造形大学、立命館大学の2つの大学と連携して「劇場スタッフワーク講座」をびわ湖ホールで年4回開催(6月、8月、10月、11月)し、演出家と台本読み合わせや演出意図、作曲者の意図や演奏のコンセプト等を全員で理解した。令和5年2月にかけて学生68名が装置、衣裳、映像を各大学の授業の一環として製作した。3月14日からは「舞台技術者研修」(舞台に関わる6つのコースに計24名の技術者が全国から参加)を行い、各大学で製作した装置、衣裳、映像、オーディションで選ばれた8名の出演者も加わり、その後、集大成として音楽劇「シンデレラ」成果発表公演を3月18日に開催した(観客数:298名)。

また、「舞台用語ハンドブック」(全国公立文化施設協会刊)の用語解説をもとに、映像を撮影してSNSで発信することで、滋賀県はもとより全国の舞台技術に携わる人をはじめ、学生など、今後舞台人を目指す人への支援を行った。

(エ) 安全管理

「びわ湖ホール劇場技術運営マニュアル」に則り、舞台の安全な管理運営に努めた。

(オ) 修繕工事の実施

県からの受託により、令和4年7月から令和4年11月にかけて大・中・小ホールの音響設備・照明設備などの修繕工事を行った。

- ・大ホールスピーカー出力部更新
- ・大・中・小ホールインカム設備更新
- ・大・中ホール舞台用ITV設備更新
- ・大・中ホール3点吊りマイク更新
- ・中ホール調光盤更新
- ・大・中ホール照明ネットワーク更新

- ・中ホールホリゾントライトシステムLED更新

また、令和6年度に行う舞台関係の大規模改修に向けて各方面と調整を行った。

ウ 駐車場管理運営

駐車場の維持管理を適正に行うとともに、ホール来館者をはじめ一般の方の利用に供した。
駐車場の令和4年度の総利用台数は、66,117台であった。

びわ湖ホール駐車場利用台数

区 分	台 数				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合 計	69,424台	54,220台	31,321台	69,299台	66,117台
月 平 均	5,785台	4,518台	2,610台	5,774台	5,509台
日 平 均	190台	148台	86台	189台	181台
多頻度利用券（月）	(延べ) 2,615台	(延べ) 2,665台	(延べ) 3,118台	(延べ) 3,320台	(延べ) 2,447台

(5) 舞台芸術基金の状況

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1. 声楽アンサンブル	8 件 508,000 円	10 件 96,000 円	125 件 601,800 円	7 件 161,000 円	6 件 150,000 円
2. 次世代	3 件 43,000 円	6 件 41,000 円	111 件 446,950 円	4 件 36,000 円	3 件 25,000 円
3. 全般	19 件 11,400,155 円	29 件 22,089,623円	772 件 10,594,538 円	127 件 11,044,822 円	17 件 10,379,943 円
計	21 件 11,951,155 円	33 件 22,226,623円	783 件 11,643,288 円	130 件 11,241,822 円	18 件 10,554,943 円

※令和5年3月末現在舞台芸術基金残高 73,122,106円

※件数は複数の項目に寄付されることがあるため、合計と一致しない。

※前年度に続き、多くの県内外の個人から寄付があり、びわ湖ホールの舞台芸術に対する支援は高い水準を維持している。

Ⅱ 事業実績

3 文化産業交流会館

(1) 自主事業

ア 令和4年度自主事業

県北部の文化振興の拠点として施設や地域の特性を活かした「長栄座」公演をはじめ、古典芸能を次世代へ継承するワークショップや学校アウトリーチ、子どもや青少年による県民参加ミュージカル、滋賀ゆかりの若手演奏家による室内楽コンサート、びわ湖ホール声楽アンサンブル演奏会、産業分野と連携した講座や展示等、幅広い分野の自主事業に取り組んだ。

(ア) 公演事業（イベントホール・小劇場）

令和3年度に引き続き、イベントホール内に特設する芝居小屋で、7月から8月にかけて1週間を「夏のフェスティバル」として、人と地域を結ぶことをテーマにした自主制作公演「長栄座伝承会『むすひ』」をはじめ、親子を対象とした日本舞踊・箏・落語のワークショップと公演、若手の津軽三味線奏者による邦楽演奏会、びわ湖ホール声楽アンサンブルによる「美しい日本の歌」を上演した。

滋賀ゆかりの若手演奏家による「びわ湖ミュージックフォレスト」や「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭米原公演」などを開催し、若手の今後の活躍や地域の方に気軽に音楽に親しんでいただく機会とした。

「ぶんさん0歳児からのコンサート」では、民間企業からの協賛金が得られ演奏内容を充実し、鑑賞マナーを緩和して小さな子ども連れや障害者の方にも安心して楽しんでもらった。また、イベントホールの特性を活かしたマーチングバンドの祭典「フィールドアート 2023」は、この2年間はコロナ禍で中止や出演団体の欠場もあったが、令和4年度は出演予定団体の全てが参加し開催することができた。

なお、コロナ禍でチケット販売収入が落ち込み、経費節減により所定の自主事業の実施に努めたが、ポピュラー音楽コンサートは見送ることとした。

(イ) 普及事業

ユースシアター事業「ミュージカル～『森は生きている』」について、令和3年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令により十分な稽古ができず、時間を短縮して上演した。そのため、令和4年度も令和3年度の出演者とし、小学4年生から高校生までの25人のうち19人が参加し、これまでの公演の中でも完成度の高い内容となった。

小学生を対象に日本舞踊、箏曲演奏の技術習得とともに古典芸能の楽しさに触れてもらう「古典芸能キッズワークショップ」、その修了生による「箏曲ジュニア・アンサンブル」、若手の邦楽演奏家等に「長栄座」公演や修了演奏会の出演機会を提供し、意識や技術の向上を図る「邦楽専門実演家養成事業」を行い、次世代への古典芸能の普及と継承に努めた。また、「邦楽専門実演家養成事業」修了生による実演家専門集団「しゅはり」は、結成10周年記念として夢キラリ文化基金を活用し木之本スティックホールでコンサートを開催し、好評を得た。さらに、学校アウトリーチ事業「和のじかん」では、県内の小中学校へ邦楽演奏家を派遣し、子どもたちに箏、尺八の演奏を届け、古典芸能への関心を高めてもらう機会とした。

「アートマネジメント人材養成講座」では、地域の文化資源を劇場でどう活かすかを、令和5年度の「長栄座」公演で取り上げる「竹生島」を題材に考えた。産業分野では、文化・経済フォーラム滋賀や滋賀県産業支援プラザと協働連携し、「ビジネス・カフェ」としてビジネスセミナー、また滋賀の伝統的工芸品等を展示・販売する「近江のあたらしい伝統産業展」を実施した。令和4年度から会館が運営することとなった「びわこ文化センター」では、地域の学びの場、交流の場として各種講座を行った。

また、文化庁「アートキャラバン事業」の採択を受け、市町ホールと協働し、各地域の合唱団や関西で活動する演奏家との共演による「イルカコンサート」、親子で楽しめる「サーカスショー」等を開催した。

(ウ) 共催事業

令和３年度にコロナの影響により４日間のうち２日間が令和４年度に延期になった滋賀県の「ふるさと観光大使」を務めるT.M.Revolution 西川貴教氏のデビュー25周年記念公演を興行会社と共催で開催した。

(エ) 受託事業

公益財団法人平和堂財団から受託して、次世代育成セミナー「びわ湖ミュージックハーベスト」「2022年度芸術奨励賞音楽部門選考会」「鳩の音楽会2022」「ミニコンサート」を実施した。令和３年度の「鳩の音楽会」はコロナの影響を受け、１会場での無観客ライブ動画配信となったが、令和４年度は計画通り、高槻現代劇場、ひこね市文化プラザ、びわ湖ホールの３会場で開催し、びわ湖ホールではライブ動画配信も行った。

【令和４年度自主事業】

文化産業交流会館

区 分	事業数	公演数	公演数内訳	入場者数 (人)
イベント ホール	8 (12) 中止 1 (1)	10 (13) 中止 1 (2)	古典芸能:4、声楽・オーケストラ:4 ミュージカル:1、マーチング:1	3,421 (4,744)
小劇場	4 (5) 中止 0 (0)	12 (15) 中止 1 (0)	室内楽・器楽:7、古典芸能:3 パフォーマンス:2	1,152 (1,412)
普及事業	12 (11) 中止 0 (0)	35 (35) 中止 0 (0)	普及啓発(学校アウトリーチ他):26 協働・連携:6、人材育成:3	15,469 (14,034)
共催事業	1 (1) 中止 0 (0)	2 (2) 中止 0 (0)	株式会社キョードーアジア:2	2,602 (2,160)
受託事業	3 (3) 中止 0 (0)	4 (2) 中止 0 (0)	公益財団法人平和堂財団:4	1,345 (207)
計	28 (32) 中止 1 (1)	63 (67) 中止 2 (2)		23,989 (22,557)

※ () は前年度実績

(ア) イベントホール

古典芸能の「長栄座」公演をはじめ、声楽・オーケストラ、ミュージカル、マーチングなど 8事業 10公演を行った。

実施日	事業名	事業概要	入場者数	分野
4月29日(金・祝)	近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2022 米原公演 びわ湖ホール声楽アンサンブル &女声フォレスタ コラボレーションコンサート	近江の春 びわ湖クラシック音楽祭2022の米原公演として、びわ湖ホール声楽アンサンブルと女声フォレスタによるコラボレーションコンサートを開催した。	354人	声楽・オーケストラ
7月30日(土)	芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル2022	年に一度、蜃気楼のごとく現れては立ち消える「長栄座」に、全国から日本を代表する第一線の奏者・演者が「むすひ」をテーマに集まり、人と人、地域と地域を結ぶことを目的に新作や和のコラボレーション作品を披露した。	202人	古典芸能
7月31日(日)	滋賀県次世代創造発信事業 長栄座伝承会『むすひ』		203人	
8月3日(水)	芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル2022 滋賀県次世代創造発信事業 親子で楽しむ日本の伝統芸能2022	小学生を対象に落語、日本舞踊および箏の体験教室とその講師による技芸を披露した。 出演：林家染太(落語)、花柳緑春奈(日本舞踊)、日原暢子(箏)	77人	古典芸能
8月5日(金)	芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル2022 びわ湖ミュージックフォレスト2022 File3 「津軽三味線 駒田早代 邦楽の世界」	第38回津軽三味線世界大会女性A級の部の優勝者等、若手演奏家による邦楽コンサートを開催した。 出演：駒田早代ほか3人	150人	古典芸能
8月7日(日)	芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル2022 びわ湖ホール声楽アンサンブル 「美しい日本の歌」米原公演 vol.2	童謡や唱歌、昭和や平成を彩った歌謡曲等、いつまでも心に響く歌を集めたコンサートを開催した。 指揮：本山秀毅 管弦楽：京都フィルハーモニー管弦楽団 出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル	224人	声楽・オーケストラ
11月8日(火)	びわ湖ホール声楽アンサンブル ファンタジックオペラ「泣いた赤おに」米原公演	心ふるわすストーリーで子どもたちからも人気の高いオペラ「泣いた赤おに」を上演。一般の方と認定子ども園、小学校の計2団体が鑑賞した。 出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル 米原市立山東小学校4年生	364人	声楽・オーケストラ
11月23日(水・祝)	ぶんさん0歳児からのコンサート vol.2	ベビーカーのままでも、家族で楽しんでいただけるオーケストラのコンサートを開催した。 指揮：石崎真弥奈 管弦楽：大阪交響楽団 出演：びわ湖ホール声楽アンサンブル	470人	声楽・オーケストラ
12月18日(日)	令和4年度滋賀県次世代育成 ユースシアター事業 ミュージカル「森は生きている」	県内の小学生から高校生19人による「森は生きている」公演を令和3年度に引き続き上演した。 演出：中谷和代 稽古日数：28日	312人	ミュージカル
1月29日(日)	フィールドアート2023	滋賀県内をはじめ、近隣府県の高等学校の吹奏楽部やチアリーダー部、一般のマーチングバンド8団体が出演する祭典を開催した。	1,065人	マーチング
	ポピュラー音楽コンサート		公演中	ポピュラー音楽
合 計 8事業 10公演 (前年度 12事業 13公演)			3,421人 (4,744人)	

(イ)小劇場

びわ湖ミュージックフォレストをはじめ、パフォーマンス、古典芸能など 4事業 12公演を行った。

実施日	事業名	事業概要	入場者数	分野
5月8日(日)	ラストラーダカンパニー 「サーカスの灯」	言葉を使わない身体表現パフォーマンスカンパニーラストラーダによる「サーカスの灯」を上演した。(2回公演)	268人	パフォーマンス
6月11日(土)	びわ湖ミュージックフォレスト2022 File1 打楽器「DUO～琵琶湖・大湖・太鼓」	滋賀県出身の打楽器奏者山田佳那子と落合空千の打楽器DUOコンサートを開催した。	162人	室内楽・器楽
7月2日(土)	芝居小屋「長栄座」関連ブレ企画 特別上映会	令和3年度の長栄座「むすひ」公演を振り返る特別上映会を講談師、玉田玉秀斎による解説付きで行った。	42人	古典芸能
7月18日(月・祝)	びわ湖ミュージックフォレスト2022 File2 室内楽「Piano Trio～真夏に贈る情熱の響演～」	滋賀県出身のヴァイオリニスト西川茉莉奈と荒井結(チェロ)、野田清隆(ピアノ)によるピアノトリオの演奏会を開催した。	125人	室内楽・器楽
8月13日(土)	びわ湖ミュージックフォレスト2022 File4 邦楽「琵琶で聞く怪しの世界Ⅱ」	朗読×琵琶ユニット「御伽比丘尼」による公演。 演目:「鬼、ひとをくらうこと」(近江の国・安義の橋に出現する鬼にまつわる怪談。) 出演:荻山泊水、ののあざみ	77人	古典芸能
8月27日(土)	オーチャードコンサート2022 打楽器「名手と挑む 名作の世界」	打楽器奏者宮本妥子、三村奈々恵と若手打楽器奏者によるコンサート。出演の若手演奏家 島田菜摘が企画・制作・公演までをプロデュースし開催した。	67人	室内楽・器楽
9月4日(日)	びわ湖ミュージックフォレスト2022 File5 室内楽DUO「Cello&Piano～音楽の語らい～」	滋賀県出身のチェロ奏者岩崎弓夏と千葉遥一郎(ピアノ)のDUOコンサートを開催した。	87人	室内楽・器楽
9月19日(月・祝)	びわ湖ミュージックフォレスト2022 File6 室内楽「quintet～Roottribute～」	台風14号の接近に伴い、中止。 ※無観客・無料ライブ映像配信(視聴者数80人) 出演者:デビューリー雪乃(コントラバス)ほか4人	公演中	室内楽・器楽
10月2日(日)	びわ湖ミュージックフォレスト2022 File7 打楽器「～目で見える音、聴こえる景色～」	滋賀県出身の打楽器奏者深田瑞穂と川向志保に、ゲスト打楽器奏者中谷満を迎えたマリンバコンサートを開催した。	78人	室内楽・器楽
10月8日(土)	びわ湖ミュージックフォレスト2022 File8 邦楽「薩摩琵琶と筑前琵琶」	薩摩琵琶 鶴田流の川嶋信子と筑前琵琶 嶺青流の尾方蝶嘉の音色と語りの違いを感じさせる演奏会を中庭特設ステージで開催した。	65人	古典芸能
11月5日(土)	びわ湖ミュージックフォレスト2022 File9 室内楽「リード希亜奈&久末航2台ピアノコンサート」	野洲市出身のリード希亜奈と大津市出身の久末航による2台ピアノコンサートを開催した。	111人	室内楽・器楽
12月23日(金)	オーチャードコンサート2022 室内楽「音楽に熱狂するクリスマス」	滋賀県出身の若手演奏家等によるクリスマスコンサート。出演の若手演奏家 堀内星良(ヴァイオリン)が企画・制作・公演までをプロデュースし開催した。	70人	室内楽・器楽
合 計 4事業 12公演 (前年度 5事業 15公演)			1,152人 (1,412人)	

(ウ)普及事業

次世代育成ユースシアター事業をはじめ、古典芸能キッズワークショップや学校アウトリーチ事業などの普及事業を行った。

実施日	事業名	事業概要	入場者数	分野
7月から11月	古典芸能キッズワークショップ	小学生を対象に、日本の古典芸能の楽しさに触れ、身近に感じられる機会を提供した。 受講生：箏19人・稽古15回、日本舞踊22人・稽古17回	-	人材育成
	箏曲ジュニア・アンサンブル	キッズワークショップ修了生を対象に、より高度な演奏技術を習得する場を提供した。 受講生：7人・稽古9回	-	
11月13日(日)	古典芸能キッズワークショップ & 箏曲ジュニア・アンサンブル成果発表会	古典芸能キッズワークショップと箏曲ジュニア・アンサンブルの成果発表として、日本舞踊は「花ばたけ」等、箏は「さくらさくら」等を披露し、ジュニア・アンサンブルは「グリーン・ウィンド」を演奏した。	160人	
11月～2月	邦楽専門実演家養成事業	古典から現代曲まで幅広く箏演奏のアンサンブル実技を学べる講座を実施した。 受講生：17人・稽古12回	-	
2月12日(日)	邦楽専門実演家養成事業成果発表会	邦楽専門実演家養成事業受講生と滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」による和楽器の演奏会を、小劇場照明設備改修工事のため、米原学びあいステーションで開催した。 参加者17人、稽古12回	123人	
2月23日(木・祝)	アートマネジメント人材養成講座 地域の文化資源の劇場への活かし方～竹生島を題材に～	小林昌廣氏を講師に迎え、「竹生島」を題材に古典芸能の楽しみ方を講義していただいた。	32人	
小 計 4事業 3公演 (前年度 4事業 3公演)			315人 (271人)	※令和4年度実績から稽古の人数は除いています。
4月10日(日)	ラストラーダカンパニー 身体表現ワークショップ	5月8日(日)に開催する「サーカスの灯」公演に先駆けて、出演者による、小学生を対象とした身体表現ワークショップを開催した。(2回)	32人	普及啓発
8月3日(水)	芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル2022 親子で楽しむ日本の伝統芸能2022 ワークショップ	小学生を対象とした古典芸能の1日体験教室。 講師：林家染太(落語)、花柳緑春奈(日本舞踊)、日原暢子(箏)	26人	
10月27日(木)	滋賀県次世代創造発信事業 「和のじかん」 邦楽器による学校アウトリーチ事業を 県内13校の小中学校で実施した。	甲賀市立小原小学校 伊藤志野(箏)、岩本みち子(尺八)	17人	
10月28日(金)		長浜市立びわ南小学校 片岡リサ(箏)	42人	
11月9日(水)		大津市立田上中学校 伊藤志野(箏)、岩本みち子(尺八)	70人	
11月10日(木)		高島市立マキノ東小学校 伊藤志野(箏)、岩本みち子(尺八)	41人	
11月17日(木)		彦根市立稲枝中学校 吉澤延隆(箏・十七絃)	104人	
12月2日(金)		甲良町立甲良西小学校 伊藤志野(箏)、岩本みち子(尺八)	44人	
12月8日(木)		草津市立老上西小学校 吉澤延隆(箏・十七絃)	116人	
1月12日(木)		湖南市立三雲東小学校 吉澤延隆(箏・十七絃)	55人	
1月18日(水)		大津市立富士見小学校 吉澤延隆(箏・十七絃)	70人	
1月19日(木)		大津市立伊香立小学校 吉澤延隆(箏・十七絃)	41人	
1月24日(火)		甲賀市立甲南第二小学校 吉澤延隆(箏・十七絃)	36人	

実施日	事業名	事業概要	入場者数	分野
1月27日(金)	滋賀県次世代創造発信事業 「和のじかん」	彦根市立佐和山小学校 片岡リサ(箏)	114人	普及啓発
2月9日(木)		日野町立桜谷小学校 片岡リサ(箏)	28人	
3月12日(日)	夢キラリ文化基金コンサート 滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」結成10周年記念コンサート	滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」結成10周年記念コンサートを基金を活用して、長浜市立木之本スティックホールで開催し、湖北地域の方々に「しゅはり」の演奏をお届けした。	198人	
通年	文化教室	令和4年度から会館が運営し、72講座の文化教室を開催した。	10,180人	
小 計 3事業 26公演 (前年度 3事業 28公演)			11,214人 (12,108人)	
8月17日(水)	文化庁「アートキャラバン事業」プロデューサー講座「ものづくりの着眼点とその実演」	プロデュースのヒント、地域ソースの引用と展開、クリエイションとマーケティング、何をどうみせるかについての講座を、八日市文化芸術会館で実施した。	28人	協働・連携
8月18日(木)				
11月3日(木・祝)	文化庁「アートキャラバン事業」イルカ50th Anniversaryコンサート～ほのぼのの行こうね！～	イルカと地元合唱団、関西を中心に活動する演奏家によるコンサートを文化庁「アートキャラバン事業」により実施した。 会場：みずほ文化センター	345人	
11月5日(土)		会場：長浜文化芸術会館	406人	
11月19日(土)		会場：あいこうか市民ホール	721人	
11月23日(水・祝)	文化庁「アートキャラバン事業」クロワッサンサーカスショー BIWAKOツアー2022	音楽と曲芸とバントマイムによるサーカスショーを文化庁「アートキャラバン事業」により実施した。 会場：八日市文化芸術会館	736人	
12月4日(日)		会場：木之本スティックホール	273人	
12月24日(土)		会場：栗東芸術文化会館さくら	720人	
小 計 3事業 6公演 (前年度 1事業 3公演)			3,229人 (751人)	
7月30日(土)	近江のあたらしい伝統産業展	「長栄座」公演に併せて、湖北地域をはじめ滋賀の伝統的工芸品や特産品等を展示・販売した。	300人	産業連携
7月31日(日)			300人	
11月6日(日)	ビジネス・カフェin文化産業交流会館 第15回文化ビジネス塾	博物館と地域社会の関わりを見直すシンポジウムを文化・経済フォーラム滋賀および滋賀県産業支援プラザと連携して開催した。	67人	
年4回	ビジネスカフェ あきんどひろば in 米原	滋賀県産業支援プラザと共催で4回のビジネスセミナーを実施した。 ①7/12 ②10/5 ③11/29 ④2/24	44人	
小 計 2事業 0公演 (前年度 3事業 1公演)			711人 (904人)	
合 計 12事業 35公演 (前年度 11事業 35公演)			15,469人 (14,034人)	

(エ)共催事業

他の主催者が行う舞台芸術の振興・普及に資する事業を共催で開催した。

実施日	事業名	事業概要	入場者数	分野
4月23日(土)	T.M.R. LIVE REVOLUTION'22 -VOTE- 滋賀県立文化産業交流 会館公演	平成20年から滋賀県初となる「滋賀ふるさと観光大使」を務める歌手の西川貴教氏のデビュー25周年を記念したツアー公演を(株)キョードーアジアと共催で開催した。	1,114人	ポピュラー音楽
4月24日(日)			1,488人	
合 計 1事業 2公演			2,602人	
(前年度 1事業 2公演)			(2,160人)	

(オ)受託事業

公益財団法人平和堂財団から委託された「びわ湖ミュージックハーベスト」や「鳩の音楽会」等を実施した。

実施日	事業名	事業概要	入場者数	分野
11月11日(金)	鳩の音楽会2022	2021年度平和堂財団芸術奨励賞受賞者3人とゲスト出演者による演奏会を行った。 会場:高槻現代劇場 中ホール	399人	室内楽・器楽
11月12日(土)		会場:ひこね市文化プラザ エコーホール	286人	
11月13日(日)		会場:びわ湖ホール 中ホール ※無料ライブ映像同時配信(視聴者数811人)	451人	
1月7日(土)	2022年度海外留学助成選考/平和堂財団芸術奨励賞音楽部門選考会	平和堂財団芸術奨励賞音楽部門の2次選考会を行った。(出場者:28人) 会場:びわ湖ホール 小ホール	—	室内楽・器楽
3月23日(木) ～ 3月25日(土)	びわ湖ミュージックハーベスト	滋賀県および近隣府県在住・在学の小学5年生から高校3年生を対象とした室内楽セミナーを行った。 参加者:15人 会場:びわ湖ホール	—	セミナー
3月26日(日)		3日間の室内楽セミナーの成果発表公演を開催した。 会場:びわ湖ホール 小ホール	209人	室内楽・器楽
合 計 3事業 4公演			1,345人	
(前年度 3事業 2公演)			(207人)	

総 計 28事業 63公演			23,989人	
(前年度 32事業 67公演)			(22,557人)	

イ 令和5年度以降自主事業準備

令和5年度以降の自主事業を円滑に実施するため調査・交渉を進めるとともに、令和5年度に開催する公演の事前準備を行った。

ウ ネットワークの形成

滋賀にゆかりのある演奏家の出演、起業家を対象にしたビジネスセミナー、県内の伝統産業や特産品等の展示即売会など、多方面でのネットワークの構築に努めた。また、文化庁「アートキャラバン事業」や「夢キラリ文化基金コンサート」を通して、市町ホールとのネットワークの強化を図った。

(2) 広報営業

ア 広報営業

自主事業のPR、チケットの販売および施設利用の促進のため、ウェブサイトをはじめブログやSNS（フェイスブック、ツイッター、Instagram）、メールマガジンを活用し、年間を通じコンスタントな情報発信に努めた。特に、「長栄座」公演においては、令和2年度からウェブサイトには専門家の解説コラムを特設するなど、多くの方に興味を持っていただけるよう取り組んだ。

令和3年度から米原駅の自由通路に会館の案内看板を設置するとともに、自主事業のポスター・チラシを掲示した。また、会館周辺の自治会をはじめ、小中学校、銀行、スーパー等に毎月チラシを持参し広報協力をいただいた。

報道関係への働きかけとしては、新聞各社、テレビ、ラジオ、専門誌、雑誌、ミニコミ誌、タウン誌等、多岐にわたって情報提供や広告掲載を随時行った。また、「芝居小屋『長栄座』夏のフェスティバル」の制作発表、令和5年度自主事業ラインナップおよび開館35周年記念事業の記者発表を行った。

舞台芸術情報誌「湖響」の会館情報コーナー「えいじゃに」での取材記事等の掲載をはじめ、公演アンケートを活用した希望者へのDM発送、会館ホームページから任意登録されているアートフレンド会員へのメールマガジン配信など、様々な手法により広報活動を行った。

さらに、当財団の営業部と連携し、びわ湖ホール特別会員の特典である公演招待に「長栄座」公演等を組み入れた。また、夢キラリ文化基金の獲得についても会館関係者等に営業活動を行った。

(ア) 広報活動

パブリシティ活動としては、自主事業公演のプレスリリースを行うとともに、月2回の新聞への寄稿などを含め、県内の報道機関等へPR活動を行った。また、SNS等により最新の公演情報を発信したほか、テレビ・ラジオ出演による広報、近江鉄道駅のポスター掲示などの広報活動も行った。さらに、公演中止となった「びわ湖ミュージックフォレストFile 6」、「鳩の音楽会」びわ湖ホール公演をライブ動画配信し、広範な周知につなげた。

新聞記事、専門誌等掲載件数 166件

(イ) 舞台芸術情報誌「湖響」への情報掲載

舞台芸術への理解を広げるため、年4回（各11,000部）財団で発行している「湖響」内の会館情報コーナー「えいじゃに」欄に、独自取材による出演者へのインタビュー記事や古典芸能の取り組みをイラストや図式を活用し、より親しみやすい誌面づくりに努めた。

(ウ) アートインフォメーションコーナー

誰もが気軽に文化芸術に親しむことができるよう「アートインフォメーションコーナー」を緑のロビーとパスポートセンター前に設置し、情報提供を行うとともに文化・芸術活動に関する相談にも応じた。

- a 公演情報の提供（会館および県内外の文化施設の公演情報等）
- b 観光等の各種情報の提供
- c 舞台芸術や文化情報誌等の閲覧サービス
- d 新聞閲覧
- e 文化・芸術活動に関する相談業務

イ チケット販売

ニーズの高いイベントは、各企業や各プレイガイドで先行受付を行うなど集中的な販売に努めた。また、蓄積した顧客情報(「アートフレンド」、公演アンケート)を活用し、DMのほかパソコンやスマートフォンにチケット情報の案内をメール配信、また適宜SNS広告を導入するなど、即効性のある有効なチケット販売活動を行った。チケット受取や決済の方法についても、コンビニエンスストアでの受取やクレジットカード決済で利便性を高め、顧客の拡大に努めた。

・会館ホームページを経由したインターネットでの購入枚数 13事業 992枚

ウ メールマガジン「アートフレンド」会員運営

会館の新規顧客やチケット販売数の拡大を図るため、定期的に会員向けの情報提供を行った。

アートフレンド会員数

区 分	会 員 数 (人)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
アートフレンド会員	1,774	1,732	2,157	2,113	2,095

(3) 施設利用事業

令和4年度も施設の新規顧客の獲得や継続利用を図るため、親しみある施設案内パンフレットの作成やツイッターなどでPRを行った。コロナ禍から貸館件数、入場者は回復傾向にあり、特にイベントホールは、長期にわたる社員研修や展覧会、興行などの様々な用途に利用され、収入額はコロナ前まで回復した。一方、イベントホールや会議室の稼働率の減少は、開館以来入居していたレイカディア大学米原校の彦根市への移転が影響している。

ア 施設利用の状況

区 分	貸館件数、入場者数 (人)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
イベントホール	144	124	75	115	113
	66,961	59,603	10,807	18,640	26,456
小劇場	68	63	48	42	50
	7,218	7,662	3,328	2,846	3,608
会議室・練習室	599	671	575	570	536
	26,745	23,749	12,010	12,269	10,165
計	811	858	698	727	699
	100,924	91,014	26,145	33,755	40,229

イ ホール等の稼働状況

区分	稼働日数(日)			稼働率(%)(※2)
	自主事業	貸館状況	計 (※1)	
イベントホール	36	103	139	47
小劇場	54	48	102	40
ホール 計	90	151	241	44
練習室1	87	50	137	45
練習室2	68	43	111	36
第1会議室	14	92	106	34
第2会議室	31	88	119	39
第3会議室	3	74	77	25
第4会議室	6	93	99	32
第5会議室	8	66	74	24
合計	307	657	964	36

(※1)自主・貸館の同一日の重複を除いた合計。

(※2)休館日、保守点検等の日数を除く使用可能日を分母とし算出。

ウ 稼働率の推移

区 分	稼働率(%)				
	平成30年度	平成元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
イベントホール	73	61	51	61	47
小劇場	56	37	44	34	40
ホール 計	64	49	47	48	44
練習室	54	52	38	41	40
会議室	32	36	39	35	31

※小数点以下1位を四捨五入。

(4) 管理運営

コロナ感染症対策を引き続き講じるなど、施設の安全・安心な管理運営に努めるとともに、多目的施設として多様な利用の要望に応えられるよう柔軟な対応を行った。また、館内の情報共有を図るため、入居者による連絡会議を年2回開催した。

施設設備、備品について、経年劣化した小劇場の照明設備改修工事を行ったほか、空調、消防、舞台設備等の修繕、小劇場のピアノ、ピンスポットライト等の備品修繕、会議室、練習室のマイクセット、文化教室のバレエマット、事業案内用の大型モニターの更新を進め、快適な利用環境の整備に努めた。なお、懸案であったイベントホールの音響設備改修工事は、令和5年度に予算措置が図られた。

ア ホール等の管理運営

法に基づいた適正で安全・安心な施設設備の維持管理にあたりとともに、質の高いサービスの提供を行った。各ホールのほか、練習室、会議室、駐車場等の施設点検、および火災発生時の職員教育として、入居者や業務委託者等との年2回の消防訓練を行った。

イ 来館者サービス

県内の文化情報をはじめ観光案内に関する情報誌、ポスター・チラシの掲出、会館事業に関

する書籍を設置したほか、市町ホールや文化団体等の公演入場券を販売した。また、令和3年度の噴水設備跡地への作品展示に続き、玄関と中庭に滋賀県立陶芸の森の現代作品を展示し、滋賀県の作家紹介と産業振興に資するとともに、文化施設としての雰囲気づくりに努めた。

(5) 夢キラリ文化基金の状況

当会館や地域創造部の取り組みに対する寄付金を当会館の運営に関わる法人、団体、個人に募集した。令和4年度は、この基金を財源に、滋賀県邦楽専門集団「しゅはり」の結成10周年を記念して、和楽器弦の産地である長浜市木之本町でコンサートを開催した。

区分	件数、金額				
夢キラリ文化基金	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1 『湖国と文化』	12 件 29,000 円	7 件 48,000 円	7 件 57,000 円	3 件 25,000 円	3 件 25,000 円
2 伝統芸能	7 件 42,000 円	13 件 86,000 円	9 件 85,000 円	8 件 85,000 円	4 件 35,000 円
3 次世代	40 件 88,000 円	11 件 47,000 円	3 件 25,000 円	3 件 25,000 円	4 件 31,087 円
4 文化・芸術全般	15 件 84,000 円	11 件 159,000 円	9 件 135,000 円	7 件 70,000 円	15 件 210,000 円
小 計	74 件 243,000 円	42 件 340,000 円	28 件 302,000 円	21 件 205,000 円	26 件 301,087 円
繰 入	839,484 円	1,032,491 円	1,372,499 円	1,674,507 円	1,879,515 円
利 子	7 円	8 円	8 円	8 円	10 円
取 崩 額	50,000 円	0 円	0 円	0 円	100,000 円
年度末残高合計	1,032,491 円	1,372,499 円	1,674,507 円	1,879,515 円	2,080,612 円

Ⅲ 財団の運営

(1) 理事会の開催

理事会を4回開催し、審議はいずれも原案どおり承認された。

開催年月日	回	審議内容
令和4年4月1日	第57回 (書面)	1. 常務理事の選定について
令和4年6月13日	第58回	1. 令和3年度事業報告案について 2. 令和3年度決算報告案について 3. 令和4年度自主事業計画の変更および第一次補正予算案について 4. 理事長の選定について 5. 評議員会の招集について
令和4年11月14日	第59回	1. 令和5年度自主事業計画(案)について 2. 文書管理規程の全部改正について 3. 評議員会の招集について
令和5年3月16日	第60回	1. 令和4年度第三次補正予算について 2. 令和5年度事業計画について 3. 令和5年度収支予算について 4. 就業規則の一部改正について 5. 個人情報保護規程の一部改正について 6. 友の会会員規約の一部改正について 7. 評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催

評議員会を4回開催し、審議はいずれも原案どおり承認された。

開催年月日	回	審議内容
令和4年4月1日	第47回 (書面)	1. 評議員の選任について 2. 理事の選任について 3. 監事の選任について
令和4年6月30日	第48回	1. 令和3年度事業報告の承認について 2. 令和3年度決算報告の承認について 3. 監事の辞任に伴う監事の選任について
令和4年11月21日	第49回	(報告事項)
令和5年3月27日	第50回	(報告事項)